

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出) 委員會會議錄(速記) 第十回

會議

大正十五年二月十五日(月曜日)午前十時三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君

神部 爲藏君

工藤 鐵男君

三好榮次郎君

松本 眞平君

山本条太郎君

長田 桃藏君

山内 範造君

沼田嘉一郎君

佐々木平次郎君

倉元 要一君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君

農林政務次官 小山 松壽君

農工政務次官 棚瀬軍之佐君

商工參與官 野村 嘉六君

商工省工務局長 宮内國太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工技師 中井 武雄君
農林技師 窪田 圓平君
農工省鑛山局長 三井 米松君
內務技師 松尾 仁君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 ソレデハ關稅定率法中

改正法律案ノ委員會ヲ引續イテ開キマ

ス、今日ハ第四類ノ質問ニ移リマス

一今日ハ通告ガアリマセヌカラ質疑ノ

アル方ハ御發議ヲ願ヒマス

○沼田委員 一寸私ハ第三類デ質問ヲ

委員長ニ留保致シテ置キマシタガ、此

際ニ御尋致シテ差支アリマセヌカ

○加藤委員長 沼田君

○沼田委員 鷄卵ノ自給計畫ト云フモ

ノヲ吾ニ御廻シニナリマシタ、是ハ

確信ヲ以テ御廻シニナッタモノト思ヒ

マス、近ク六年計畫ヲ以テ自給計畫ガ

出來ルモノト致シマスナラバ、農村產

業ヲ保護スルト云フ上カラ見マシテ、

殊更ニ現行率ノ六圓ヲ四圓五十錢ニ御

下ゲニナルト云フ理由ヲ發見スルニ苦

シムノデアリマス、六年經チマスレバ

鷄卵ノ自給計畫ガ出來ル、自給計畫ヲ

聲明シタル要ハ何カト云フト、此處ニ

モ書イテアリマスガ、相當ノ關稅ヲ課

シテ、外卵ニ對スル壓迫ヲシナケレバ

ナラス、斯様ニ書イテアル、自給計畫ガ
明ニナッテ居ルニ拘ラズ、稅法ノ改正ハ
ソレト反對ニ一圓五十錢下ゲラレルト
云フコトハ、私ハ其理由ヲ發見スルニ
苦シム、此自給計畫ナルモノハ果シテ
眞實ノモノデアルカ、唯一時ノ考デ御
出シニナッタモノデアルカト云フコト
ニ對シテハ、私共甚ダ疑惑ニ思フ、此計

畫ハ眞ニ實現スルト云フ御意思ガアル

ノデアルカ、御意思ガアルモノトスル

ナラバ、何故ニ六圓ヲ四圓五十錢ニ低

下シタカト云フコトヲ承リタイ

○矢部政府委員 只今沼田代議士カラ

鷄卵ノ自給計畫ナルモノガアッテ、六年

先キニハ自給ガ出來ル筈デアルノニ、

關稅ヲ引下ゲタノハ大ニ矛盾シテ居ル

デハナイカト云フ思召ノヤウデアリマ

ス、一寸御尤ノヤウニ聞エマスガ、今マ

デ鷄卵ニ付キマシテハ屢御説明申上ゲ

タル如ク、生活上必要ナルモノデアリ

マシテ、成ベク安ク十分ニ供給スルコ

トガ必要デゴザイマス、中ニハ大正八

年以來數年間ニ涉ッテ無稅デアッタ際、

此事業ニ何等ノ差支ガナカッタ、隨テ無

稅ニスルガ宜イト云フ議論マデモアル

位デゴザイマス、併ナガラ之ヲ自給ス

ル必要ガアルト云フ方面ヲモ考慮シ

テ、此稅率ヲ低クシタノデアリマス、ソ

レデ私ノ考デハ少シモ矛盾ヲシテ居ラ

ヌヤウニ思ヒマス、一方積極的政策ニ

依リマシテ、之ヲ自給セシムル方法ガ

アル、ソレニ對シテ關稅ヲ引下ゲル、關

稅ナルモノハ財政經濟調查會ニ於テモ

屢議論ガアリマシタガ、兎ニ角必要以

上ニ保護スルノハ宜クナイ、内地品ガ

外國品トノ競争ニ堪ヘ得ル程度ニ於

テ、保護スベキモノハ保護スル、斯ウ云

フ意見デアリマシタ、今回ノ此稅率改

正ニ於キマシテモ、矢張ソレ等ノ主義

モ相當加味致シマシテ、斯ウ云フ方針

ヲ立テマシタノデアリマス、ソレカラ

鷄卵ニ付キマシテ、一圓五十錢下ゲマ

シタ所ガ、ソレガ此事業ニ影響ヲ及ボ

スモノデナイト認メタノデゴザイマ

ス、自給ノ計畫ニ付キマシテハ、何レ小

山政府委員カラ詳細ニ申上ゲルコトト

思ヒマス

○沼田委員 私ノ質問ニ對シテ豪モ了

解スルダケノ答辯ヲ得ラレマセヌカ

ラ、重テ御尋致シマス、鷄卵ガ現行率ノ

六圓ヲ課シマシテモ、年々千五百萬圓

以上ノ輸入ヲ見テ居ル、而シテ鷄卵ノ

自給自足ノ方法ヲ發表ニナリマシタノ

ハ、此六圓ノ現行率ニ於テスラ尙且ツ

自給自足ヲナス上ニ於テ、御説明ニ依

ルト外國卵ノ壓迫ニ對シテ相當關稅ヲ

課シテ、サウシテ自給自足ノ方法ヲ講

ジナケレバナラスト云フコトヲ御辯明

シ

シ

シ

シ

ニナッテ居リマス、左様ニ考ヘマスル
ト、私ノ問ニ對スル政府委員ノ御説明
ト云フモノハ要ヲ得テ居リマセヌ、更
ニ一圓五十錢下ゲルト云フコトニナリ
マシタナラバ、六圓ノ關稅デアッテスラ
尙千五百萬圓モ來ルノデアルカラ、之
ヲ來ナイヤウニシテ本邦ノ養鶏事業ヲ
發達セシムルト云フコトハ矛盾モ甚
シキモノデアラウ、此點ニ對シマシテ
政府委員ノ御説明ヲ承リタイ、是ガ自
給自足ノ方法ヲ御發表ニナラズシテ、
小山政務次官ガ御説明ニナッタ如クデ
アリマスレバ、私ニモ了解シ得ラレマ
スケレドモ、自給自足ノ方法ヲ御發表
ニナッテ、サウシテ一圓五十錢ヲ下ゲタ
ト云フ理由ハ何處カラ生レテ來タノデ
アルカ、判然致シマセヌ、此點ニ對シテ
ハ審議スル上ニ相當ニ考慮シナケレバ
ナラヌト思ヒマスカラ承リタイ、之ヲ
御發表ニナラナイ前ノ御説明ハ、最早
承ル必要ハアリマセヌ

○小山政府委員 前回ノ委員會デ段々
御質疑ガアリマシタカラ、詳シク御説
明申上ゲマシタガ、重テノ御尋デアリ
マスカラ御答致シマス、前回ニモ申シ
マシタヤウニ、鳥卵ノ關稅ハ大正八年
カラ十三年ノ春マデ、六年間食糧ニ伴
フ問題トシテ免稅サレテ、一厘モ關稅
ハ掛カッテ居ラナカッタ、而モ其間ノ養
鶏業ハドウ云フ風ノ消長ヲ爲シタカト
云フコトヲ實際ニ調べテ見マスルト、
成程免稅ノ結果支那卵ガ相當ニ數ヲ増
シテ這入ッテハ來マシタガ、一方國民ノ
消費ノ率ガ増シテ參リマシタ爲、内地
ノ養鶏業モ相伴ッテ數ヲ増シ、進歩シテ
來テ居リマス、其海外カラ來マス卵ト、
内地卵トノ消化力ト比較研究致シテ
見マス、過去數年間ニ互ル成績カラ
見マスレバ、今回盛リマシタ關稅ノ率
ヲ以テ、相當ニ農家副業ノ養鶏業ヲ發
達セシメテ行ケル、斯ウ云フ大體ノ見
當ガ付キマシタノデ、ソレデ先日來申
上ゲタヤウナ譯デアリマス、而モ又一
方ニハ屢申上ゲマシタヤウニ、内地ノ
生産ヲ保護シ、一方ニハ生活ノ安定ヲ考
慮シナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ其
兩様カラ見マシテ、此程度ヲ以テ前段
ニ申上ゲマシタヤウナ事業ニ大ナル脅
威モ感ジマイ、斯ウ云フ譯デ此稅目ヲ
盛ッテ居ル譯デアリマス

○沼田委員 小山政務次官ハ今御出ニ
ナッテ質問ノ要旨ガ御分リニナラナカッ
タト思ヒマスガ、重テ御尋致シマス、度
度ノ御説明ニ依テ大體ハ了解シテ居リ
マス、然ルニ前會ニ於テ鶏卵ノ自給計
畫ヲ御發表ニナリ、其中ノ説明ニ依ル
ト、鶏卵ノ輸入ニ對シテハ相當ノ關稅
ヲ課シテ外國卵ニ壓迫ヲ加ヘ、内國卵
ノ健全ナル發達ヲ圖ル、此自給自足ノ
計畫ヲ立テテ置キナガラ、一方從來六
圓ノモノヲ一圓五十錢引下ゲタノハ、
自給自足ノ此意味ト矛盾ガアリハセヌ
カ、何故關稅率ヲ一圓五十錢御下ニナッ
タト云フコトノ説明ヲ承リタイト思フ

ノデアリマス
○小山政府委員 只今外國鳥卵ノ輸入
數量ノコトヲ御述ニナリマシタガ、其數量
ハ大正八年カラ十三年マデノ關稅ノ掛
カラナカッタ所ノ數字デハナイカト思
ヒマス、六圓ニナリマシタノハ大正十
三年四月一日デアリマスガ、關稅ノ今
度ノ價格ノ基準ハ、先日モ申上ゲタヤウ
ニ大正十一年七月カラ、十二年六月マ
デノ基準ヲ取ッテ居リマス、其時ノ鶏卵
ニハ關稅ハアリマセヌ、ソレハ今ノ御
話ノ中ノ數字ヲ申上ゲタノデアリマス
ガ、只今御話ニナリマシタ鶏卵ノ自給
計畫、是ハ昨年ノ第五十議會ニ於テ農村
振興費二百五十萬圓ノ御協賛ヲ仰ギマ
シタ、其各施設ノ中ニ鶏卵ノ所謂共同
施設ノ費目ガアリマス、其時分ニ將來
ノ養鶏業ハ如何ニナルカト云フコトノ
基礎ヲ、農林當局トシテハ立テナケレ
バナリマセヌカラ、其當時カラ研究ヲ
込、即チ理想案デアリマス、ソレデ農林
當局トシテハ此自給計畫ノ今後六年ニ
於テ此目的ヲ達成スル爲ニ、此理想案
ニ達スルヤウニ官民ノ協力ヲ致シタ
イ、如何ニ政府ニ案ガ立チマシテモ、民
間デ其趣旨ノアル所ヲ酌取ッテ御協力
願ハナケレバ、其效果ヲ收メルモノデ
ハアリマセヌカラ、其方法ハ一ツノ理
想案、見込デアルト此間モ申上ゲテ置キ
マシタ、而シテ現在六圓カラ四圓五十
錢ニ下ゲタ、而モ一方ニハ相當關稅ノ

保護ヲ要スルト見ツツアルガ、ドウ云
フ譯デアアルカト云フトコデアリマスガ、
只今モ申上ゲタ通り、過去六年間ニ互ッ
テ免稅シテ居ッタモノヲ、現在ハ六圓デ
アリマススケレドモ、六年間免稅當時ノ
其事業ノ消長カラ考ヘテ、四圓五十錢
デアラナラバ相當關稅ノ保護ヲ受ケ、
而シテ民間ノ協力ヲ得レバ、其理想案
見込ニ於テ庶幾ノ目的ヲ達成スル
コトガ出來ルデアラウト考ヘテ居ルノ
デアリマス

○沼田委員 統計表ノコトヲ御話ニナ
リマシタガ、參考書ニハ十三年度千五
百萬圓、十四年度ノ方ガ千二百五十萬
圓、差引二百五十萬圓程減ジテ居リマ
ス、然ルニ若シ六圓ヲ四圓五十錢ニ御
下ニナルナラバ、差引減稅セシメテ而
シテ先ニ御話ノ自給自足、官民合同シ
テ外國卵ノ輸入ヲ防遏シヤウトスル計
畫ニ矛盾ノ起ルコトト思ヒマス、統計
ガ明ニ之ヲ示シテ居ルノデアリマス、
之ニ對スル私ハ政府ノ所見ヲ承リタイ
ト思ヒマス

○小山政府委員 重テノ御尋デアリマス
ガ、茲ニ數字ヲハッキリ申上ゲマス、大
正十三年ニ於テ千五百十三萬圓、大正
十四年ニ於テ千二百五十九萬圓ニナッ
テ居リマス、大正十三年ヨリハ十四年
ノ方ガ減ッテ居リマス、而シテ先刻モ申
上ゲタヤウニ此内地ノ養鶏業ハ段々進
歩シテ、産卵業ト云フヤウナモノモ餘程其
成績ガ好クナッテ參ッテ居リマス、是ハ

此前モ色々詳シク申上ゲタ、色々ナ方
法モ申上ゲマシタガ如ク、數年ノ間免
稅致シテ居タモノニ對シテ、尙ホ日本
ノ養蠶業ニソレ程ノ打撃ハナカッタノ
デアリマスカラ、現在ノ稅目ヲ以テ、協
力ヲ得マズレバ其理想ニ達スルコトガ
出來ヤウト斯ウ考ヘテ居リマス

○沼田委員 御説明デハ不徹底ノヤウ
ニ思ヒマスケレドモ、ソレ以上ハ御尋
セヌコトニシテ、モウ一ツ承リタイノ
ハ「バター」デアリマスガ、百五十三ノ
「バター」ハ何方カノ御質問モアリマシ
タ、西伯利「バター」ガ非常ニ安ク出來
ル爲ニ、世界ニ於ケル「バター」ニ非常
ニ大ナル脅威ヲ與ヘテ居ル、相當之ニ
對シテハ對策ヲ講ジテ居ル國ガ澤山ア
ルヤウニ承ッテ居リマスガ、我國ノ今同
ノ改正ハ依然トシテ現行率ヲ其儘ニ御
用ヒニナッテ居リマスガ、是等ニ對シテ
ハ——此西伯利ノ「バター」輸入ニ關シテ
ハ、何等我國ニ於テ脅威ヲ感ゼヌト考
ヘテ居ラレルカ伺ヒタイ

○矢部政府委員 西伯利「バター」ノ輸
入ニ付キマシテハ、前回モ御質問ガアッ
テ、十四年度ノ統計ガアルカト云フ御
質問ガアリマシテ、調べテ來マシタカ
ラ併セテ御答致シマス、大正十三年ノ
「バター」ノ總輸入額ハ七十七萬圓デア
リマシテ、内西伯利カラ入ルモノハ六
千圓アリマス、十四年ニ至リマシテ
ハ稅關カラ報告ガ來テ居リマス所ノ十
一月迄ノ統計ガゴザイマス、ソレニ依

ルト入ッテ居ナイヤウデアリマス、之ニ
依ルト當時引續キ輸入ガ行ハレテ居ル
デハナカラウト思ヒマス、私共ハ左程
恐ルベキモノデハナイト考ヘテ居リマ
ス

○長田委員 第二十二ノ「コーンスタ
ー」チ「タヒオカ」「マニオカ」「セーゴ」
ニ付テ屢御尋致シマスガ、當業者ノ説
明ヲ詳シク聽取スルト、政府委員ノ説
明ガ根柢カラ覆ルヤウニ思ヒマス、是
ハ關稅委員會デ滿場一致デ御決議ニ
ナッタ入念ノ御調査ノ結果デアリマス
カラ、杜撰ハアルマイト思ヒマスガ、當
業者ノ訴ヘル所ニ依レト、政府ノ説明
ガ裏切ラレテ居ルノデアリマス、一應
御參考ノ爲ニ申上ゲマスガ、「コーン
スター」ハ今日マデ一圓六十五錢ノモ
ノガ四圓五十五錢ニ急激ナ引上ヲサレ
タ、其原因ガ寧ろ奢侈品ニ屬スルモノ
ト見レバ、是レ位ノ引上ハ國民ガ少シ
モ不平ヲ訴ヘルモノデハアリマセヌ、
當業者モ亦其點ニ對シテハ決シテ不平
ハナイト思フ、現ニ「コーンスター」チ
ノ中デ吾々ガ能ク家庭デ食ベマス「コー
ンパウダー」長方形ノ紙箱ニ這入ッテ居ル
「コーンパウダー」ナドモ「コーンスタ
ー」チ「トシテ輸入シテ居リマス、此「コ
ーンパウダー」ノヤウナモノハ、ドウ云
フ形ニナッテ這入ルカト云ヘバ、一封度
入ノ紙箱ガ四十個這入ッテ、ソレガ本箱
ノ包裝トナッテ、食料用ニ這入ッテ來ル、
是ハ無論輸入ノ場合ニ於テ、當業者ハ

食料用トシテ買付ケテ、食料用トシテ
到着致スノデアリマス、此一封度ガ市
價卸値デ十五圓以上ノ金額ヲシテ居ル
サウデアリマス、所ガ同ジ輸入スル「コ
ーンスター」チノ中デ、麻袋ニ這入ッテ
居ルモノガアル、ソレガ工業用デアリ
マス、ソレハ百四十封度一袋ニ這入ッテ
來ル、ソレハ工業用デアリマスガ、百封
度ノ價格ニシマスト九圓五十錢市價デ
アリマス、食料用ノ十五圓ニ對シテ九
圓五十錢デアリマスカラ、約五圓五十
錢ノ差ガアリマス、ソレガ全部工業用
ニ使ハレバ宜シイガ、ソレヲ紙箱ノ
食料用ノ方ニ胡麻化シテ、小賣業者ナ
ドガ賣ッテ居ル形跡ガアル、サウシテ是
ガ蒲鉾ナドニ使ハレル、ソレガドウ云
フヤウナ狀況ニナッテ居ルカト云フト、
輸入金額ノ八割五分ガ工業用ニ使ハレ
ル、ソレハ織物ノ必需品トシテ之ニ代
ルベキ商品ガ内地ニハアリマセヌ、從
來海外ニ於テ日本ノ織物ガ粗糲ダト云
フ批評ガアッタノデアリマス、ソレハ日
本ノ織物業者ガ糊ノ大切ナコトヲ閑却
シテ居ッタ爲デ、「コーンスター」チノ効
果ハ粘着力ガ強クテ、絲ノ纖維ニ浸入
シテ、布ガ滑カニ軟カニ光澤ヲ増シ、其
効果ハ「コーンスター」チヲ置イテ他ニ
適品ガナイ、値段モ安イカラ、鐘紡、大
日本紡、日清紡、以下全國ノ織物業者ハ
皆「コーンスター」チノ効果ヲ認メテソ
レヲ使用シテ居リマス、英國ノ「マンチ
エスター」ノ機業雜誌ニ斯ウ云フコト

ガ載ッテ居ル、「近來有機化學ノ大進歩
アリト雖モ實際織物用トシテ「コン
スター」ガ有益ニシテ驚クベキ效能ヲ
有スルト云フ如キコトハ未ダ世ニ發表
セラレタルコトナシ、從テ其ノ特點ヲ
知ル者ナカリシ「コンスター」チハ粘着
力ニ於テ他ノ澱粉ノ如キ不同アルコト
毫モナク一樣ニ能ク伸長シ十日若クハ
十一日間空中ニ放置スルモ變化セズ他
ノ澱粉ハ數日後ニ酸化シ早ク腐敗シ早
ク染色ヲ變ジ經絲ヲ損シ光澤ニ及ボシ
尙數日後ニハ膠ノ如ク塊リトナリ酸腐
液ノ泛ブニ至リ「サイズ」(糊)ノ堅ク粗
キ仕上ニ終ル故餘部ノ製滑料ヲ要シ織
維ニ浸入セズ然ルニ「コンスター」チヲ
用ユル時ハ仕上ヲ一樣ニ平均セシメ非
常ノ好果ヲ與フ且ツ全體ニ能ク浸入ス
ル様ハ他ノ澱粉ノ及ブ所ニアラズ」云
云斯様ナ狀態デ「コーンスター」チト云
フモノハ今後益日本ノ輸出織物ニ對
シテ必要缺クベカラザルモノデアルト
云フコトハ明白デアリマス、ソレガ輸
入品ノ八割五分ヲ占メテ居ル、サウシ
テ其「コーンスター」チノ中ノ「タビオ
カ」「マニオカ」「セーゴ」ト云フモノガ
無稅デ使用シテ居ルト云フ狀態デア
ル「コーンスター」チハ食料用ニ使フモノ
デ他ノ物ガ工業用ニ使ハレルト云フ御
觀察ハ根本カラ誤謬デアリマス、斯ノ
如キ事實ヲ閑却シテ、一圓六十五錢ヲ
四圓五十五錢ニ引上ゲルト云フ如キ
ハ、其御趣旨ガ何所ニアルカ分ラヌノ

デアリマス、輸入業者トシテモ脅威ヲ感ズルノミナラズ、日本ノ織物會社ハ非常ナ困難ヲスルト云フコトヲ申シテ參ッテ、此問題ニ對シテ當局ノ御判斷ハ「コーンスタート」ト云フ物ノ使用方法ハ何レデアルカト云フコトヲ御明示下サレバ、明確ナル判斷ガ出來ルト思ヒマス、農林省ニ於テ今日マデ御取調べ下スツタノデセウ、「コンバウダー」ノ用途ハ何レデアルカ、是ハ食料用デアルカ、工業用デアルカ、此點ヲ御調べデアレバ伺ヒタイ、工業用ガ八割以上ヲ占メテ居ルニ拘ズ、此値上ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ今一段明確ニ此點ヲ御説明ヲ願ヒタイ

○矢部政府委員 此問題ニ付キマシテハ、前回ニ屢御尋ガゴザイマシテ、農林省當局カラ御答ヲ致シマシタ、尙ホ其上ニ調査ヲスルト云フ御約束ヲシタヤウニ覺エテ居リマスカラ、只今調査中デアラウト考ヘマス、尙ホ今日ノ御尋ハ能ク傳ヘマスト御承知置ヲ願ヒタイ

○小山政府委員 矢部政府委員カラ御答申上ゲタヤウニ、今精密ニ調査ヲ致シテ居リマス、後刻其調査ガ出來タラ申上ゲルヤウニ致シマス

○長田委員 ソレデハ其點ハ留保致シマシテ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○岩切委員 今ハモウ第三類ノ問題ニ進ンデ居ルヤウデアリマスガ、一寸大體ニ及ブ問題デアリマスカラ、一項ダ

ケ御伺ヒシタイト思ヒマス、ソレハ砂糖ノ問題デアリマス、砂糖ノ問題ハ現在據置デアリマス、表ヲ見マスト年々六千萬圓バカリノ砂糖ガ輸入サレテ居ル、内地産業ノ獎勵ヲ圖リ、保護政策ノ見地カラ、從來此工業ニ對シテ保護ヲシテ來タモノガ澤山アル、然ルニ此砂糖ノ如キモノハ、臺灣デモ隨分發達ヲシテ居リマスガ、是レ以上尙ホ發達セシメ、内地ノ生産額モ増シ、外國カラ這入ルモノヲ防遏スル可能性ガ此上アルモノデアルカドウカ、臺灣ノ砂糖ノ如キハ十分發達シタヤウナ感ジモシテ居ル、然ラバ政策上ノ見地カラ、十分發達シテシマッタモノニ對シテハ、漸次保護政策ノ立場カラ元ニ戻ッテ來テ、關稅ヲ減ジテ其價額ヲ安ク供給スル所ヘ歸着スルノガ當然デハナイカ、尙ホ砂糖ヲ依然トシテ斯ウ云フ關稅率ヲ保ッテ居ルト云フコトハ、是レ以上尙ホ砂糖ト云フモノハ、發達ノ見込ガアルカラデアルカ、或ハ是ダケ保護ヲシナケレバ内地砂糖ノ製造ハ衰ヘルノデアルカ、沖繩縣ノ黑糖ノ如キモノハ全然別種デアリマスガ、臺灣ノ精糖ハ隨分市場ニ於テハ種々ノ打擊ヲ受ケマシタケレドモ、可ナリ澤山儲カッテ居ルモノト思ヒマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、是ハ砂糖ノミナラズ、發達シタモノニハ下ゲテ行クノガ當然デアルト思ヒマスガ、砂糖ニ付テハマダサウ云フコトヲ御極メニナッテハ居リマセヌカ

○矢部政府委員 御答致シマスガ、現行稅率ハ明治四十三年ニ十八號以下ノ物ニ對シマシテハ、五割、ソレ以上ノ物ニ付テハ六割ノ關稅ヲ設ケマシテ保護ノ方針ヲ執リマシタ、現在ニ於キマシテハ内地デ出來マス砂糖ニ付キマシテハ、臺灣ニ於テ七億五千萬斤バカリ出來マス、内地ニ於キマシテ一億三千萬斤、合計八億八千萬斤バカリ出來マスノデ、相當自給ニ近イ程度ニマデ内地ニ於テ發達シテ參リマシタ、是ハ現行稅ノ爲ニ此處マデ參ッタノデアリマス、所デ今御話ノ如ク六千萬圓バカリノ輸入ガアリマス、併シ是ハ支那ニ輸出スル原料ニナルノデアリマシテ、貿易上大切ナモノデアリマスカラ、免稅致シマシテソレヲ助長スル方針ヲ執ッテ居リマス、是ハ大部分支那ニ行キマス、内地ニ殘リマスモノハ其一部分ニ過ギナイノデアリマス、斯様ニ致シマシテ、今砂糖ノ生産並ニ砂糖ノ貿易ハ良好ナル狀態ニアリマスノデ、今此稅率ヲドウスルカト云フコトガ問題ニナリマシタノデゴザイマスガ、砂糖ノ稅率ニ付キマシテ研究ヲ要スル問題ガアリマシノデ、色々調査會ニ於キマシテモ研究ヲ致シマシタ結果、中々調査ガ終ルマデニ行カナイ所カラシテ、今回ハ據置トシテ提案致シマシタ譯デアリマス、據置ガ宜シイト認メタ譯デハナイノデアリマス

○岩切委員 能ク分リマシタガ、是ハ當局ノ方ニ希望致シマスノハ、大體此關稅ト云フモノハ多額ニ致シマスト、ドウシテモ物價ヲ騰貴セシムルコトガ非常ニ多イト思ヒマス、デアリマスカラ若シ斯ノ如キ問題ガアルナラバ、一部分ニ付テデモ、成ベク物價ノ調節ヲシテ行クヤウナ方面ノ物ニ對シテハ、稅率ヲ引下ゲテ一方上ルモノニ對シテ調節ノ途ヲ付ケルコトガ極メテ當然ダト思ヒマス、砂糖ナドハ大分發達シタモノデアリマスカラ、少シ安ク國民ニ提供スル途ヲ講ジテ行クガ適切デアルト云フ考ヲ持チマシテ、質問ヲシタノデアリマス、此點ニ付テ御考慮ヲ煩スコトガ出來マスナラバ結構デアリマス、私ハ是デ質問ハ終リマス

○加藤委員長 ソレデハ第四類ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○沼田委員 此七十二ノ革類デアリマスガ、此革類ノ中ノ甲ハ塗リタルモノ、乙ハ染メタルモノ、又ハ着色シタルモノ、丙イ靴底革トアリマス、之ニ付テ御尋致シタイト思ヒマスガ、此染メタルモノ、即チ是ハ二種類アリマス、俗ニ「ボックス」キットト云ヒマスガ、何レヲ以テ從量稅ニ御極メニナッタモノデアルカト云フコトヲ承リタイ、第二ノ靴底ノ革ハ相當ニ本邦ニ於テハ發達シテ居リマス、併シ悉ク其原料ハ外國品ヲ仰イデ居ルノデアリマス、サウ致シマスレバ今日此場合ニ此本邦ノ産業保護ト云フ御趣意カラ參リマスルナラ

バ、元ノ二割デアッタモノヲ特ニ之ヲ一割六分トシタト云フ趣意ハドノ點カラデアアルカト云フコトヲ承リタイ

○柵瀨政府委員 御尋ニ御答スル前ニ、私カラ一寸申上ゲテ置キタイ、第四類以下即チ今後御審議ヲ願フ各類ニ付キマシテハ、自然商工省方面ノ方カラ御答ヲ申上ゲルコトガ便宜ナルノガ殆ド大部分デアラウト思ヒマス、所謂六百數十アル中、其八割ニ近イモノヲ商工省カラ御答ヲ申上ゲル順序ニナラウカト思ヒマス、所デソレニ對シテ私ガ各品目ニ付テ一々御答スルコトガ當然デアリマスガ、却テ生吞込ノ半可通デ申上ゲテモ、要領ヲ得ルコトガ難ク、御迷惑ヲ掛ケルコトガ多イト思ヒマス、就キマシテ御審議ヲ願ヒマス總テノモノニ對シテハ、此決定ニ至リマス迄ニソレノ専門ノ知識ヲ以テ十分入念ニ基礎調査ヲ致シタノデアリマスカラ、其方ノ者カラ御答申上ゲル方ガ、御審議上御便宜デアアル、又相互却テ宜シイト思ヒマス、デアリマスカラ、今後御尋ノ事ニ對シマシテハ、私カラ御答申上ゲル場合モアリマセウガ多クノ場合ハ其専門々々ノ調査シタ者ヨリ御答辯ヲ申上ゲル、斯ウ云フコトニ致シタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○矢部政府委員 一通リノ御説明ヲ申上ゲマシテ、尙ホ柵瀨政府委員カラ申上ゲル如ク、詳細ハ又當局ノ方カラ御答致スコトニ致シマス、只今御尋ノ七

十二號ノ中ノ染メタルモノ又ハ著色シタルモノノ稅率百四十五圓ト云フモノハ、何カラ割出シタカ「ボックス」カラ割出シタカ、或ハ其外ノ物カラ割出シタト云フ御尋ノヤウニ承知致シマシタ、是ハ大正十一年ノ七月カラシテ、大正十二年ノ六月迄ニ至ル間、即チ吾ガ準備期間ト稱ヘテ居ル間ニ於ケル輸入シタル、染メタルモノ、著色シタルモノ、「ボックス」其他ノ區別ナク總平均ヲ致シマシテ、ソレニ對シマシテ稅率ヲ割出シマシタ、ソレハ後段ノ靴底ニ付キマシテハ、是ハ内地ニ相當ノ生産ガゴザイマス、尙ホ外國カラ這入リマス、兩者ニ付テ精密ナル調査ヲ致シマシタノデゴザイマスガ、内地ニ於キマシテハ最近ニ於テ非常ニ發達ヲ致シマシタ、之ヲ更ニ稅率ノ引上ヲシテ保護スル必要ハ感ジナカッタ、成ベク此十五圓二十錢ノ稅率ノ下ニ發達サセテ行キタイ考ヲ持ッテ居リマス、現ニ稅率ノ下ニ發達ヲ致シテ參リマシタノデ、中ニハ特別ナル事情ニ依リマシテ、多少困難ナ製造業者ガアルヤウデゴザイマスカ、ソレハ特別ナルモノデアリマシテ、單ニ此輩ノ事業ノ上カラ觀察シマシテ、昨今ニ於テハ之ヲ引上ゲテ保護スル必要ヲ見ナイト認メマシタ、若シ之ヲ引上ゲマスレバ、ドウナリマセウカ、一方ニ生活ノ必要品デアアル、革ニ及ボス影響モ考ヘナケレバナラヌ、ソレ等ヲ餘程考慮シタ次第デアリマス、ソレ

デアリマスケレドモ、稅率ガ元ト四十三年ニ極メマシタ時代ニナリマシテハ、半截革ト申シマシテ、頭カラ尻迄割ッタ半分ノ狀態デ輸入ガ多カッタ、ソレガ土臺ニナリマシテ十五圓二十錢ガ割出サレマシタ、併ナガラ今日ノ狀況ハ大分變ッテ參リマシテ、常ニ從量稅ノ下ニ輸入サレル主ナル關係デアリマスカ、支那ノ良イモノガ這入ッテ來ル、即チ此處ニ掲ゲデアリマスル如ク「バック」「ベンド」「パット」「ストリップ」ト云フヤウナモノガ這入ッテ參リマシタ、詰リ是等ノモノハ半截革ヲ更ニ頭ノ所ヲ取ッテ、腹ノ所ヲ切り去リ、尻ノ所ヲ切去ッテ、内部ノ上等ノ所ダケヲ持ッテ來ルコトニナリマシタ、是ハ現行法ノ缺點デアリマシテ、是ハ此度ハ相當ノ稅ヲ設ケルノガ宜シイト云フ所カラ、今回ノ改正ヲ機會ト致シマシテ、之ニ對シマシテ二十七圓十錢ト云フ稅率ヲ設ケタ譯デアリマス、特ニ是ハ稅率ヲ引上ゲタト云フ意味デナク、ソレ相當ノ稅ヲ設ケタノデアリマス

○沼田委員 大體ノ御説明ハ分リマシタノデアリマスガ、専門ノ御研究ニナシタモノト致シマシテハ、甚ダ私ハ了解シ兼マス、ソレデ今一ツ具體的ニ御尋シタイ、此塗リタルモノト云フモノハ、總ラ是ハ丙ノ分トハ方法ヲ異ニ致シマス、是ハ主ニ「重クローム酸加里」ヲ使フ、サウ致シマスルト今回ノ改正ヲ見マスルト「重クローム酸加里」ハ一圓八

十錢ノモノガ五圓十錢トナッテ居リマス、又染料ガ必要デアリマスガ、是モ非常ナル輸入稅ガ増サレテ居リマス、内地ノ産業ハ一方ニ於キマシテ其原料トスベキモノハ買ウテ居ル、而シテ此染メタルモノト云フモノヲ平均ヲ御取リニナル「ボックス」ト「キット」ト云フモノハ、重量ガ非常ニ相違致シテ居リマス、サウシテ「ボックス」ハ日本ニ於テ完成ノ域ニ達シテ居リマス、唯「キット」ガイケナイ、ナゼカ、原料ノ關係デアリマス、原料ハ支那ニモ無イ、是ハ何處カラ得ナケレバ、ナラスカト云ヘバ北米合衆國若クハ濠洲カラ得ナケレバナラヌ、斯様ニ致シマスト原料ハ外國カラ得ナケレバナラヌ、ソレニ使用スル藥品染料ハ高イモノヲ使ハナケレバナラヌ、サウシテ一方ニ於テ今日ノ從價稅ヨリハ從量稅ニナッタ爲ニ、其物ガ廉クナル、サウスルト輸入スル物ガ直段ガ下ッテ、サウシテ内地ノ産業ハ材料其他ニ於テ、非常ナ高イモノヲ使ハナケレバナラヌト云フ結果トナリマス、發達シテ居リマス其業ヲ廢メナケレバナラヌト云フコトニナリハセヌカ、之ニ對シマシテ御調ベニナッテ居ルナラバ、詳細ニ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ今御説明ニナリマシタ「バックベンド」斯ウ云フモノハ輸入致シテ居リマスケレドモ、澤山輸入致シテ居ラヌ、明治四十三年ノ改正當時ヨリアッタモノデ、是ハ何ニ使ハレルカト云ヘバ、主ニ使用スル

モノハ「ベルド」ニ使フ「ベルド」ハ殆ド我國ノモノガ外國品ヨリハヨリ以上ニ優良品ガ出來テ、而モ價格ノ點ニ於テ安イ、此故ニ是ハ殆ド出テ來ルモノハ僅カデア、主タル目的タルモノハ「キツト」デアリマスガ、是ハ百四十、百四十一ノ「タンニン」材料ヲ以テ製革スルノデアリマシテ、其數量ノミデ二百六十七萬圓ト云フモノヲ輸入シテ居ル、ソレニ對スル原料ハ米國支那カラ這入ッテ來ル、左様ニスルト此原料ハ海外品ニ仰ギ、サウシテ今日内地デ發達シテ來テ居ルト云フコトハ技術ノ力デア、其品物ノ優良ナル物ガ出タカラ、外國品ト匹敵シテ今日ノ成績ヲ見テ居ルノデアリマス、今日ノ爲替相場ノ變動ヨリ見マスレバ、現行法ヲ十五圓二十錢、二割ガ一割六歩ト云フヤウナコトデオヤリニナツテハ、更ニ反對ノ側ニ支障ヲ來シハシナイカト思フノデアリマスカ、之ニ對シテドウ云フ確信ヲ持ッテ居ラルカ伺ヒタイ

○中井商工技師 七十二皮類ノ乙、染メタルモノ著色シタルモノニ付テノ御尋デアリマスガ、此中ニハ御尋ノ如ク「ボックス」「キツト」此二ツガアリマス「ボックス」ハ御話ノ通り現在輸入ハ極メテ僅少デ、大體我國ニ於テ自給自足トシテ居ルノデアリマスカラ、成程御話ノ如ク「重クローム酸加里」或ハ染料ソレ等ノ物ハ幾分ハ關稅ノ引上ハ見テ居リマスガ、其影響ハ極メテ少イノデ、

是ガ爲ニ内地ノ「ボックス」製造業ガ其基礎ヲ危クスルト云フヤウナコトハ全然ナカラウト考ヘテ居ル、ソレカラ次ニ「キツト」デスガ、是ハ我國ニ於ケル生産ガ極メテ僅少デ、今尙ホ研究時代デ、將來果シテ是ガ内地ニ於テ成立スルカドウカト云フコトモ未ダ分ラヌヤウナ状態ニアリマス、「キツト」ハ其製造ガ困難デ、亞米利加ノ特産トモ言ハレルノデアリマシテ、世界各國トモニ亞米利加ニ「キツト」ノ供給ヲ仰イデ居ルヤウナ状態デアリマス、歐洲ニ於テモ矢張其製造ガ困難デ、其工場ハ僅カ三四ヨリナイサウデアリマス、大體ニ於テ亞米利加ノ供給ニ待ッテ居ル状態デアラサウデアリマス、デアリマスカラシテ、成程其「キツト」ノ原料山羊革ハ海外カラ輸入ヲ仰イデ居リマス、ソレ等ノ原料モ多少騰貴ハシテ居リマスカレドモ、未ダ研究時代デアリマスカラ、別ニ業トシテ成立スルヤウナモノデハアリマセヌカラ、其程度ニ据置イテ其經過ヲ見タイト思フノデアリマス、ソレカラ丙ノ靴底革デアリマスガ、何故現在二割ニナツテ居ルモノヲ一割六歩ニ下ゲタカト云フヤウナ御尋ノヤウデアリマスガ、是ハ現在從量稅カラ換算サレマシタ毎百斤十五圓二十錢ト云フ稅率ニナツテ居ルノデ、成程一割六歩ニ率ハ下ッテハ居リマスカレドモ、矢張每百斤十五圓二十錢デアリマス、何等從量稅ニ變化ハナイノデアリマス、先程矢部

政府委員カラ御話ノアリマシタ通り、現在ノ稅ノ不備デアルト云フコトヲ悟リマシタノデ、斯クノ通り二ツニ分ケテ、内地ノ製革業ヲ保護シタイト云フ趣旨ニ出タノデアリマス、ソレカラ斯ノ如ク率ヲ下ゲテ内地ノ靴底革工業ヲ危クシヤセヌカト云フ御尋モアリマシタガ、此靴底革ト云フモノハ、主トシテ日本皮革株式會社、其他明治製革株式會社、山陽皮革會社ニ於テ生産致シテ居リマス、其大部分ハ日本皮革株式會社ニ於テ生産致シテ居リマスガ、此日本皮革株式會社ト大正十四年下半期ノ營業報告ヲ見マス、一割二歩ノ配當ヲシテ居リマス、先ヅ此程度ノ配當ヲ見マスナラバ、先ヅ先ヅ現在ノ稅ニ据置イテ然ルベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○奧村委員 私ハ議事ノ進行ニ付テ發議シタイト思ヒマス、先程長田委員カラ二十二ノ「コーンスターチ」ニ付テノ質問ガアリマス、當局ハソレニ對シテ尙ホ調査中デアルガ如キ御答デアリマス、此問題ニ付テハ私ハ十二日ノ委員會第八回ノ午後ニ於テ政府ニ御尋致シマシタ、サウスルト黒田政府委員ハ調査スルマデモナク、明確ニ此速記録ニ依テモ明カナル如クニ答辯ヲ致シテ居ル、サウスルト、其答辯ニ於テ茲ニ矛盾ガ生ジテ來ルト思ヒマスガ、又一面政府ノ之ニ對スル御調査ガ疎漏デアッタト云フ點モ窺ハレマスガ、併シ私ガ

議事進行ノ故ヲ以テ發言ノ御許ヲ得タノハ、議院ノ面會所ニ只今當局者ガ陳情ニ來テ居リマス、尙ホソレニ付テ協議致シタイト思ヒマスガ、黒田政府委員ノ私ニ言ハレタ點ハ、明ニ長田委員ニ對スル所ノ答辯ト違ッテ居リマス、黒田政府委員ニハ是非出席サレルヤウニ委員長カラ御通知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員長 承知致シマシタ、第四類ニ付テ他ニ御質問ハアリマセヌカ、ナケレバ五類ニ移リマス

○本多委員 百十一ノ「オレイン」是ハ稅ニ於テモ前通りデアリマスガ、之ニ保護ヲ與ヘルト云フ必要ハナイノデアリマス、千住陸軍製絨所並ニ民間ノ製絨所等ニ於テモ、必要品デ民間デハ非常ニ保護ヲ希望シテ居リマスガ、保護ノ必要ハナイカト云フコトヲ伺ヒマス

○矢部政府委員 只今御尋ノ百十一ノ「オレイン」ハ「スチアリン」酸「バルミッ」チン「酸」等ヲ化合シテ居リマシテ、脂ノ中ニ存在シテ居ルノデアリマス、牛脂ノ脂ノ中ニハ多量ニ存在シテ居リマス、牛脂カラ「グリセリン」ヲ造ル時分ニハ「オレイン」ガ副産物トシテ出テ來ルノデアリマス、我國ニ於テハ從來濠洲等カラ輸入シテ來テ居リマシテ、是ガ毛織物會社ノ毛ヲ捌クニ使ハレテ居リマス所デ現在ハ五圓デアリマシテ、今度ノ改正ニ於テモ五圓ヲ維持スルコトニナツタノデ、是ハ深い意味ガアリマ

○奧村委員 先程長田委員カラ二十二ノ「コーンスターチ」ニ付テノ質問ガアリマス、當局ハソレニ對シテ尙ホ調査中デアルガ如キ御答デアリマス、此問題ニ付テハ私ハ十二日ノ委員會第八回ノ午後ニ於テ政府ニ御尋致シマシタ、サウスルト黒田政府委員ハ調査スルマデモナク、明確ニ此速記録ニ依テモ明カナル如クニ答辯ヲ致シテ居ル、サウスルト、其答辯ニ於テ茲ニ矛盾ガ生ジテ來ルト思ヒマスガ、又一面政府ノ之ニ對スル御調査ガ疎漏デアッタト云フ點モ窺ハレマスガ、併シ私ガ

ス、先般「グリセリン」事業ヲ保護スル爲ニ「グリセリン」ト共ニ複製スル「オレイン」ステアリンヲ引上ゲマシタ、ソレハ大正十年ニナツテ同年六月一日カラ五圓ノ稅ヲ掛ケラレテ居リマス、今回ノ改正ニ於キマシテモ、是ガ問題ニナツテ如何ニスルカト云フコトニ付テ、研究シマシタ結果、据置キニ致シタノデアリマス、此上更ニ當業者ガ云フガ如ク稅ヲ課シ——當業者ハ十圓ヲ唱ヘテ居リマスガ、之ヲ引上ゲマスルト四割ニ向ヒマス、是ハ原料品デアリマシテ、此原料品ニ四割ノ稅ヲ掛ケルト云フコトハ容易ナコトデナイ、尙經過ヲ見ルコトガ必要デアラウカト思フテ据置トシタノデアリマス

○星島委員 私モ「オレイン」ニ付テ伺フ見タイト思ヒマスガ、大正十年ノ改正ノ時ニ私モ委員デアツテ、油脂ノ工業ニ對スル政府ノ補助ヲ徹底セシムルヤウニ、セヌナラセヌ、スルナラセルト云フヤウニ、中間ノ好イ加減ノモノデハイカスト云フ意見ヲ陳述ヲシタノデアリマスガ、今回ノ改正ニ付テモ、當業者ガ言フニハ、少シ徹底シテヤリマスレバ、油脂工業ハ獨立シ得ル可能性ガアルト云フ、是ハ他ノ染料工業ト違ッテ政府ノ補助工業デモ將ニ獨立セントスル際デアリマスカラ、之ヲ當業者ノ希望スルヤウニスレバ確ニ獨立スル殊ニ製絨羊毛織物ノ爲ニ、「オレイン」ガ這入ッテ來ル、其金額ハ僅カデ政府ノ參考

書ニ依テ見テモ僅ニ十二萬圓デアリマス、如何ニモ僅カナ金額デアリマスガ、ソレガ爲ニ市價ヲ下ゲシメテ當業者ハ困ルト云フコトヲ言フ、是ハ尤モナ話デアルト思ヒマスガ、之ヲ政府油脂工業ノ將來獨立ニ近イ、獨立シテシマッタラサウ大シテ保護スル必要ハナイ、ソレ迄モウ少シ保護スルト云フコトハ一二ノ製産者ノ特別ナル保護ヲスルノデナク、日本ノ油脂工業ヲ本統ニ政府ハ保護シテヤツテ、低利資金モ下ゲテ居リマスガ、モノ一段ト他ノ油脂ト同ジ程度、少クモ其程度迄上ゲテヤレバ獨立スル、ソレガ爲ニ他ノ羊毛其他ノ製絨者ニ對シテ影響ガナイト云フコトガ見エレバ、徹底セシメタ方ガ宜イト思ヒマス、政府ハツレデモ矢張保護スル必要ナシト云フ御意見デアリマセウカ、大シタモノデナケレバ、徹底的ニ保護スル方ガ宜イト思ヒマスガ……

○宮内府委員 「オレイン」ノ關稅ニ付テハ、當業者ハ實ハ商工省ニハ希望ハ申出テ居リマセヌ、隨分保護ハシテ居ルノデアリマス、其點ニ付テハ私共ノ方ハ實ハ何等申シテ出ナイノデアリマス、御承知ノ通り「オレイン」ノ關稅ハ大正十年ニ於テ事業ヲ致サセル爲ニ、適當ナ程度迄引上ゲテ居ルノデアリマス、元來「オレイン」ハ合同油脂「グリセリン」株式會社ガ、油脂工業ノ副業トシテ之ヲ製造スルノデアリマシテ、其生産費ノ如キハ實ハ明瞭ニナツテ居リマセヌノデゴザイマス、是一ツヲ以テ生産費ヲ的確ニ出スト云フコトハ極テ困難ナノデゴザイマス、併シ大體先年ノ改正ニ於テアノ程度ヲ以テマシテ保護シテ行カウ、斯ウ云フコトニ至ツタノデゴザイマスガ、併ナガラ油脂工業ガ今日外國品ノ壓迫ニ依リマシテ、相當苦境ニアルト云フコトハ當局モ能ク承知シテ居ルノデゴザイマス、其苦境ニアルノハ何ガ主因カト申シマスルト「グリセリン」ガ外國カラ這入ッテ來ルト云フコトト、無稅ニナツテ居ルト云フコトガ是ガ即チ價額ヲ壓迫スルト云フコトニナツテ居ル譯デゴザイマス、是ガ主タル原因デアラウト考ヘテ居ルノデゴザイマス、故ニ今回ノ改正案ニ於テハ、「グリセリン」ハ三圓二十錢ヲ十八圓ニ上ゲテ居リマス、牛脂ハ現今無稅デアリマシタノヲ一圓二十錢ニ引下ゲテ居リマス、サウ云フヤウニシテ全體トシテ油脂工業ヲ保護スルト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、次ニ「オレイン」ノ輸入ニ付テ見マスルト、只今モ仰セデアリマスガ、今尙ホ相當ノ輸入ガアリマス、三分ノ二ハ既ニ自給ヲ致シマシテ、三分ノ一ハ外國カラ這入ッテ來ルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ元來副業デアアルノデアリマシテ、關稅ノ全體カラ見マシテ、油脂工業ノ主タル部分ガ保護サレルト云フコトニナリマスレバ、即チ立行クダラウト斯様ニ考ヘテ居リマス、先ヅ暫ク其

成行ヲ見マシテ、ドウシテモ行カヌト云フ場合ニハ、更ニ相當ニ考慮スルコトハ致シマスケレドモ、現在ニ於テハ之ヲ引上ゲルト云フ意思ハ持ッテ居リマセヌ

○星島委員 商業會議所、工業俱樂部ノ兩方トモ意見ヲ述ベテ居リマスカラ、一言開陳シタノデアリマスガ、唯油脂工業其他特ニ保護シナケレバナラヌト云フ最モ主ナルモノト思ヒマスガ故ニ、徹底的ニ保護シテヤラウ、好イ加減ナ所デナシニ、ヤルナラヤツテ、物ニナルモノハ早ク物ニシテヤルヤウニ、單ニ油脂工業ノミナラズ、其他ニテモ同ジ事デアリマスガ、私共ハ保護スルナラ保護シテ立行クヤウニシテヤル、最近ハ合同シタリ色々ナ事ニヤツテ居リマスガ、保護スルモノハ徹底スルヤウニト云フ希望ヲ以テ申スノデアリマス

○佐々木委員 只今「オレイン」ニ關シマシテ、私モ少シ述べタイト思ヒマス、只今政府ノ御説明ニ依ルト「オレイン」ノ製造ニ對スル詳細ノ御調ハ、今迄能ク分ッテ居ラナイ、隨テ今後若シドウシテモ此製造ガ工業トシテ引合ハナイト云フコトガ分ッタクニハ、又考慮スルト云フヤウナ御答ト承知致シマシタガ、私共ノ手許ニアル材料ニ依リマス、計算ハ極メテ明瞭ニナツテ居リマス「オレイン」ノ原料ハ大豆ノ硬化油ガ主ナルモノデアリマス、ソレガ製品ニナツタ結果ドウ云フ風ニ分類サレルカ

ト云フト原料百ニ對シ「オレイン」ニ於テハ三十「ステアリン」十五、石鹼ノ材料ニナル蠟ガ四十三「グリセリン」ガ〇・六、合計九四「バトセント」ニナルヤウデアリマス、今ノ御説明ニ依リマスト、「グリセリン」ニ對シテハ、今度稅率ヲ増加シタ、之ヲ以テ十分デアルト云フコトノヤウニ承リマシタガ、百分ノ六デアリマスカラ、全體カラ見テ歩合ハ僅カデアラウト思フ、今申シタ所ノ各分類ノ製品ニ對シテ、現行法ニ依テ輸入稅ヲ計算シテ、之ニ依テ生産費ヲ計算スルト、漸ク原價位ニナツテ居ルヤウニ見エマス、若シ現行法ガ當業者ノ希望スルヤウニ、百斤十圓ニナルト、丁度生産費ニ對スル一割位ノ配當ノ利益ニナルヤウデアアル、若シ現行法ノ儘デ行キマスト、結局此事業ノ經營ガ出來ナイ、折角我國ニ於キマシテ、歐洲戰亂ノ當時、無理ニ色々ノ方法ヲ加ヘテ、今日マデ保護シテ來タノデアリマスカ、幸ニ外國品ニ匹敵シテ、少シモ遜色ナイ位ニナツテ來テ居ル、ソレガ今日非常ニ困ツテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、ソレ故、今私カラ申シタ所ノ計算ガ違ッテ居ルトスレバ、更ニ其教ヲ受ケタイト思ヒマスガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒマス

〇宮内政府委員 商業會議所カラ出マシタモノハ、直接、私、見テ居リマセヌガ、詳細ノ點ニ付キマシテ調査ヲ致シタノデアリマス、必シモ私ハ生産費ガ

出ナイト云フ事ヲハッキリ申シタノデハナイ、頗ル困難デアルト云フコトヲ申シタノデアアル、尙ホ生産費ノ内容等ヲ調べテアリマスカラ、其點ニ付キマシテハ詳細説明サセマス

〇平野商工技師 「オレイン」ノ製造者ガ不引合ノ爲ニ困ツテ居ルト云フ話ハ、私モ承知シテ居リマス、併シ「オレイン」ノ實際方法ト申スモノハ、硬化大豆油許リデ出來ルモノデハナイ、實際ハモット複雑ナ工程ノ間ニ出テ來ルモノヲ集メマシテ、副産物ニ出來ルモノデ、一ツノ原料カラ明ニ出來ルト云フモノデハアリマセヌ、成程「オレイン」ノ部分ヲ引離シテ見ルト、算盤ガ合ハナイト云フ會社ノ計算ニナルカモ知レマセヌガ、併ナガラ會社ノ全體ノ事業ヲ見マスト、油脂ノ需要ニハ關係ハナイ、先程政府委員カラ申シマシタ通り、「グリセリン」硬化油ト云フモノハ、外國品ノ爲ニ壓迫セラレテ、不引合デアアルガ爲ニ、色々生産費ニ對シテモ、影響ヲ及ボシテ、來マシテ「オレイン」モ不引合ノ關係ガ出テ來ルト思ヒマス、ソレデアアルカラ、今回油脂工業ノ發達ヲ助成スル意味カラ、其最モ重要ナ產物デアアル所ノ「グリセリン」ノ稅ヲ改正シ、ソレカラ硬化油ニ對シテハ其競爭品デアアル牛脂工業ヲ助ケタト云フ考ヲ以テ居ルノデアリマスカ、若モ是ガ目的通り參リマスカラバ、會社ノ計算ハ全體トシテ利

益ヲ生ズルコトニナリマス、隨テ「オレイン」モ全體ノ利益ノ均霑ヲ受ケル爲ニ、矢張利益ノ計算ガ出ルカモ知レナイ、サウ云フ複雑ナ關係ニナツテ居ルモノハ、全體トシテ利益ガ出ル場合ニ於テハ、現行稅ヲ以テ「オレイン」ノ需要ハ相當發達シテ行クモノト見テ居リマスノデ、今回ハ之ニ手ヲ觸レナカッタノデアリマス、若シモ「グリセリン」ノ關稅ヤ、牛脂ノ關稅ガ目的ヲ達シナイヤウナモノガアリマシテ、其結果トシテ「オレイン」ノ事業ノ將來ニ於テ、不引合ノ場合ガアリマシタナラバ、又相當考慮ヲ加ヘタイト思ヒマス

〇岡田委員 菜種油ハドウナリマスカ
〇矢部政府委員 菜種油ノ稅率ハ百二十號ノ別號ニ掲ゲナイ所ノ油トシテ、從價二割ヲ課スルノデアリマス
〇岡田委員 次ニ百十五號ノ漆蠟及蠟燭デスガ、蠟燭ニ付テハ、古來藩政ノ時代ニ獎勵シテ居リマシタノデ、特殊ノ產物トシテ殘ツテ居リマスカ、從價カラ行クト、是ハ四分ノ一ニナツテ困難デアルト思ヒマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ
〇窪田農林技師 是ハ元木臘業ガ餘リ振ハナカッタ時分ニ、初メテ四割ノ稅率ヲ課シタ、サウスルト非常ニ盛ニナツテ參リマシテ、其後殆ド輸入ガ無クナツテ來マシタノデ、今ノ所デハ寧ろ輸出スルヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、此程度デ發達シタカラ之ヲ變ヘル外ハナ

カラウ、從量稅デ見ルト大變減ツタヤウデアリマス、是デ發達シテ參ッテ居リマス、維持ガ出來テ居ルノデアリマス
〇加藤委員長 ソレデハ此五類ニ付テハ質問アリマセヌカ
「マダゴザイマス」ト呼フ者アリ
〇加藤委員長 ソレデハ是デ休憩致シマシテ午後一時カラ繼續致シマス
午後零時二分休憩

午後一時十九分開議
〇加藤委員長 ソレデハ午前ノ質問ヲ繼續致シマス、御發議ノアル方ハ此際ニ……
〇岩切委員 簡單ナ問題デアリマスカ、魚油及ビ鯨油ト云フモノハ無稅ニナツテ居ル、サウシテ第二食糧品ノ方デ鯨ノ肉ト云フモノニハ百斤ニ一割五分ノ從價稅ガ掛ケテアル、是ハドウ云フ譯デスカ、鯨ノ肉ト云フモノハ原料デヤナイノデスカ、製品ノ方ハ無稅ニシテ原料ノ方ハ有稅ニナツテ居ルト云フノハ、ドウ云フ譯デスカ、又關係ガ同ジヤウナ問題デ、製品ノ方ガ落花生等モ安クテ原料デケラ引上ゲタト云フ、同ジヤウナ性質ノモノガアッチコッチニアリマスガ、此關係ハドウナツテ居ルノデアリマスカ
〇矢部政府委員 百七號ノ魚油及ビ鯨油、殊ニ鯨油ヲ指シタノデナク、一般的ノ考カラ申シマスレバ、魚油デケデ宜

シイノデアリマスガ、動物デアリマス
ノデ、鯨油ト掲ゲマシタノデアリマス、
一般ニ魚油ハ非常ニ發展ヲ致シテ、製
造ハ非常ニ發達致シマシテ輸出品ニ
ナツテ居リマスノデ、内地ニ於キマシテ
ハ専ラ工業ノ原料トシテ供給セラレ、
又外國ニ對シテモ輸出セラレト云フ
ヤウナコトデアリマス、特ニ之ヲ保護
スル必要ヲ見ナイ所カラシテ、無税ニ
致シマシタ譯デアリマス、一方ノ鯨肉
ニナリマス、食糧ト致シマシテ、他ノ
食糧トノ權衡上、大體ニ於キマシテ一
割位ヲ適當ト認ムル、所デ水産局ノ調
査ニ依リマス、所云フト、外國ノ漁業者
ガ遠洋ニ於テ收穫シタモノヲ持ッテ來
ナイトモ限ラナイ、現在ニ於テハ其憂ガ
ナイガ、兎ニ角此考モ加味シテ一割五
分ト云フコトニ致シマシタ次第デアリ
マス、百七號、ソレト離レマシテ工業ノ
原料デアルノト、尙ホ外國ノ輸出品ニ
モナツテ、外國品ノ壓迫ヲ受ケナイ、受
ケル憂モナイト云フ所カラシテ、無税
ニ致シマシタヤウナ次第デアリマス
○岩切委員 モウ一ツ聞キタイノハ、
菜種油ノ問題デアリマスガ、昨日モ一
寸質問致シタノデアリマスガ、御答辯
ニ依リマス、菜種ノ作付段別ガ年々
淺ッテ來ル、ソレガ爲ニ多少率ヲ上ゲテ
置イテ、内地ノ農村ノ發達ノ爲ニ關稅
ヲ上ゲテ行ク方宜イト云フヤウナ御
話モアッタヤウデアリマスガ、成程ソレ
モ御尤デ、農村ノ副産物ト致シテ、保護

スル方ガ作付段別ヲ増シ、菜種ノ栽培
ヲ助長スルト云フ議論モ適切デアラウ
ト私ハ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、昨
日ハ農會ノ人モヤッテ來テ、是ハ却テ菜
種ト云フモノノ油ヲ獎勵シテ、原料ヲ安
ク入レテ、製油業ヲ盛ニスル方ガ、寧ロ
農村振興ニナルト云フ意見ヲ持ッテ居
リマス、殊ニ南九州ノ方ニナリマス、
菜種ノ栽培ハ非常ニ盛デアリマス、私
ノ地方ナドニ至ッテハ、殆ドモウ菜種ガ
非常ナモノデアアルノデアリマス、ソコ
デ此菜種ヲ栽培スル者モ、菜種ノ油業
者ガ衰ヘテ來ルト云フコトニナリマス
ト、何處ヘモ菜種ヲ利用スルコトガ出
來ナイノデアリマス、大豆ノ爲ニ菜種
業ガ減ンデ行クト云フコトニナレバ、
却テ農村振興ニナラヌ、此際ドウシテ
モ大豆ト匹敵スルヤウナ保護ヲシテ貰
ハナケレバ困ルト云フノデアリマス、
殊ニ煙草ヲ作ル、是ハ栽培ニ非常ナ關係
ガアリマス、煙草ニハドウシテモ菜種
ノ油糟デナケレバイカヌノダサウデア
リマス、農村ト致シマシテハ、油糟ガ安
ク手ニ入ル、ソレガ一番大切ナ問題デ
アリマス、ソレニハ製油業ガ盛ニナツテ
行ク方宜イ、寧ロ外國カラ無税ニシ
テ菜種ノ原料ヲ輸入シテデモ、製油業
ガ盛ニナル方ガ、隨テ農村ノ爲ニナル
ト云フ議論ヲ、農村側ト製油業者ト同
ジ一致意見デ陳情致シテ居ルヤウデア
リマスガ、之ニ對シテノ御意見ハドウ

○矢部政府委員 先日二十五號ノ菜子
及芥子ニ付キマシテ御尋ガアリマシテ
是ト同ジ問題ト考ヘマスルガ、現在菜
子ノ輸入ハ十三年ニ於テ六百九十餘萬
圓アルノデアリマシテ、何レモ油ニ搾
ラレテ、内地用ニ供サレル、或ハ外國ニ
輸出サレテ居ル、只今煙草ノ肥料ニ宜
シイト云フ御話デアルガ、是カラ出ル
糟ハ相當農業方面ニ供給サレテ居ッテ、
其方ニ不便ヲ感ズルト云フコトハ一切
ナイモノト見テ居リマス、而シテ之ニ
對スル稅率ガ少々殖エルガ爲ニ、却テ
衰微ヲ來サナイカ、衰微ヲ來スナラバ、
内地ノ菜子ト栽培ニモ關係ガアルト云フ
ヤウニ言ハレマスガ、私達ハサウハ見
ナイノデアリマシテ、問題ハ内地ノ菜
子ヲ使フカ、外國ノ菜子ヲ使フカ、之ニ對
シテ外國ノ菜子ガ無税デ使ハレルコト
ニナレバ、内地品ト競争スルコトニナ
ル、サウスレバ全部ノ戻稅ヲスルカラ、
ソコデ初メテ内地ノ大豆ト權衡ガ取レ
ルヤウニナツタノデアアルガ、菜子ニ於キ
マシテハ、全然大豆ト趣ヲ異ニシテ居
ル、全然食糧ニ供サレルモノデナイ、全
部油ニ供サレル、製油ニ於キマシモ、内
地ノ菜子モ、外國ノ菜子モ競争ノ位置ニ
アルノデ、値段ニ依リマシテ何方デモ
使ヒマス 私ハ油ノ事業ガ盛衰ヲ來ス
ヤウニハ見テ居ラナイ、單ニ稅ノ如何
ニ依テ、内地ノ方ヲ重ク使フ、外國ノ
方ヲ重ク使フト云フコトデナク、兩者
相選ンダナラバ、菜子ノ作付ノ衰微シ

テ行クニ徴シテ、適當デハナカラウカ、
然ラバ外國ノ方ヲ排斥スルカト云フ
ニ、サウ見テ居ラヌ、今回稅率ガ改正ニ
ナレバ、ソレ相當戻稅モ改正ニナリマ
ス、油ヲ搾レバ油ニ對シテ、幾ラノ税金
ヲ戻ス、又油糟ニ對シテ何程カノ税金
ヲ戻ス、一方出タ油ガ外國ニ輸出サレ
ルナラバ、輸出品ノ原料ニ供サレル廉
ヲ以テ、ソレ相當ノモノガ戻サレルノ
デアリマスカラ、油ノ事業ニ付テハ影
響ガナイモノト考ヘマス、今度稅率ガ
改正サレルト戻稅モ改正ニナリマスカ
ラ、相當ニ緩和サレハシナイカ現在ノ
戻稅ナルモノハ、古イトキニ制定サレ
タモノデアリマスカラ、現在ノ狀況ニ
合ハナイト云フ者モ其所ニアリマスノ
デ菜子油ヲ原料トシテ油ヲ搾ッテ場合
ニ出ル油糟ト、油トノ兩方ノ上ニ於テ、
税金ヲ按分致シマシタナラバ、恐ラク
現在ノ戻稅ハ率ノ合ハナイモノダト云
フ考ヲ持ッテ居リマス、是ハ斷言出來マ
セヌガ、要スルニ今回ノ改正案ニ基キ
マシテ、新シク現在ニ適スル戻稅ヲ作
ルコトニ致シタイ積リデ居リマス
○松本委員 只今ノ岩切サシノ御質問
ニ續イテ一寸諒解セヌ點ガアリマシタ
ノデ御伺致シマスルガ、大豆ノ油ト種
油トハ、殆ド同性質ニ使ハレツツアル
ノデアリマスガ、一方大豆ノ方ハ全
部ノ戻シヲシテ菜子ノ方ハ、十分戻シ
ガナイ、即チ今六十五錢ノ税金ニ對シ
テ種糟ニ對スル戻シハ、二十五錢デア

ルト云フコトデアルケレドモ、今大豆ト同ジヤウナ立場ニ置ク以上ハ、六十五錢ノモノハ、六十五錢ノ戻シガ至當デアラウト思ヒマス、今度八十五錢ニスル場合ニ於テ、八十五錢ノ戻シヲスルコトニナリマスレバ、從來ノ六十五錢對二十五錢ガ相當デアルト云フ意味合カラ、ソレヲ基準トシテノ相當ノ程度デアルト云フト、私共聊カ之ヲ大豆等ト比較シテ、不均衡デアラウト考ヘマス、即チ現行ノ大豆ノ方ハ無稅デアツテ、片方ハ六十五錢ニ對シテ戻稅ガ二十五錢デアアルノハ不均衡デアルト私共考ヘテ居リマスカラ、更ニ之ヲ八十五錢ニシテ相當デアルト云フコトヲ、現在ノ「スタンド・ポイント」カラ出發シテ、考慮スルコトハ不十分デアラウト思ヒマス、此點ニ付テ更ニ御説明ヲ願ヒタイ

○矢部政府委員 現在行ツテ居ル方法ハ、大豆ノ輸入稅ガ七十錢、其大豆ヲ内地ニ引取リマシテ、油ヲ搾リマスト時分ニハ、七十錢全部ヲ戻シテ居リマス、ソレカラ菓子ノ方ハ、外國カラ菓子ヲ輸入シテ油ヲ搾リマスト、ソコデ二十五錢ヲ戻ス、ソレカラ油ガ内地ニ於テ消費サレル時分ニハ、其儘デスガ、其油ヲ外國ニ輸出サレマス、時分ニハ四十錢ヲ戻ス、即チ四十錢ト二十五錢ト加ヘテ、六十五錢ヲ戻サレル、大豆ニ對シマシテハ油ガ内地デ使ハレテモ戻シヲ全部スルコトニナツテ居リマス、是ハ

事情ガ異ナルカラデアリマス、御承知ノ如ク大豆ハ滿洲大豆ガ内地ニ這入ッテ來テ何ニ使ハレルカト云フト、主ニ油ニ使ハレル、其他醬油ニモ味噌ニモ相當使ハレルヤウデアアル、併ナガラ内地ノ大豆ノ用途ヲ考ヘルト、主トシテ食糧ニ供セラレテ油ノ方ニハ使ハレテ居ラヌノデアリマシテ、製油業ノ範圍ニ於テハ、内地大豆ト滿洲大豆トハ競争ノ地位ニナイ、是ニ於テ製油事業ノ發達ヲ促シ、尙ホ油ノ輸出ヲ圖ルガ爲ニ、從來假置場ニ致シテ居ツタモヲ、サウ云フ手數ヲ要セズシテ、全部戻スコトニナリマシタ、之ニ反シマシテ菓子ニ付キマシテハ、全然今ノ話ハ違ッテ居リマシテ、全部ガ油ノミニ使ハレルノデアリマシテ、決シテ食糧ニ使ハレルモノデハナイ、若シ油ニ使ハレタ時分ニ全部六十五錢ノ戻稅ヲシタナラバ、ソレハ稅關ニ於テ這入ル時分ニ無稅デ入レタト同様ノ狀態ニ於テ、稅關ニ於テ稅ヲ掛ケ、ソレヲ油ヲ搾ツタカラト言ッテ全部戻スト云フコトハ、殆ンド「マイナス」「プラス」ノ仕事ヲシテ居ルコトニナル、左様ニ全部戻スト云フコトニ致シマシテハ、内地ノ菓子ト云フモノハ、如何ヤウニシテモ對抗スルコトガ出來ズシテ、消滅ニ歸スル消滅スルノミナラズ、一部ノ戻稅ヲシテ居ル時ニ於テスラ消滅シツツ——減退シツツ行クノデアリマスカラ、全部ノ戻稅ト云フモノハ到底出來ナイ、大豆トハ

全ク事情ヲ異ニシテ居ル、ソレデ今回稅率ノ改正ニ依リマシテ戻稅ノ方モ改正ニナリマスルガ、其方針ト現在ノ方針ト同ジ方針デ改正ヲ致ス見込デゴザイマス、但シ現在ノ油ニ對スル戻稅ト油糴ニ對スル戻稅ト云フモノハ、正當ナル率ヲ保ツテ居リマセヌト云フコトハ問題デアリマスノデ、是ハ調査ヲシタ上デナケレバ申上ゲラレヌ、特別ニ手加減ヲシテ油ノ方ノ戻稅ヲ上ゲルト言ッテ考慮スルト云フ、サウ云フヤウニ致ス譯ニ參ラヌノデ、正當ニ現在ノ市場價格ヲ調べテ見テ、油糴ニソレヲ乘ジ、又油ニ對シテモ其價格ヲ乘ジテ按分ニ兩方ノ稅金ヲ分ケテ換算ヲ致シタイト云フ考デアリマスノデ、方針ハ大體ニ於キマシテ現在ト同ジデアアル、但シ其數字ハ恐ラク違ッテ出テ來ルダラウト考ヘテ居リマス

○奧村委員 只今松本サンカラ大藏省當局ニ御尋デアリマシタガ、私前回ノ委員會ノトキニ、矢張此煙草ノコトニ付キマシテ希望或ハ質問ヲ致シマシタ、其時ニ大藏當局ハ御承知ノ通りト云フコトヲ言ウテ居リマシタガ、ソレハ大藏省デヤツテ居ラレル所ノ煙草專賣法ニ於テ榮種糴ニ非常ニ重キヲ置イテ居ルト同時ニ、又煙草ノ栽培ニ非常ニ必要ナモノデアアル——是ハ此間申上ゲマシタ通り、一般ノ肥料ト云フモノデハ出來ナイト云フ程ノ效果ヲ持ッテ居ルモノデアリマスルガ故ニ、大藏當

局ハ煙草栽培者ニ向ッテ榮種糴ヲ買入ルル場合ニハ、資金マデ融通ナサルヤウニ聞イテ居リマス、所ガ栽培業者亦其點ニ於テ、榮種糴ヲ買フト云ウテ、他ノ肥料ヲ價格ノ點カラ換ヘテ買ツタリ、色ミナ間違ヒ或ハ不心得ナ者ガ生ズルノデ、此頃專賣局ニ於カレテハ製造業者ニ直接御話ニナツテ、サウシテ指定工場ト云フヤウナモノニ御相談アツテ、サウシテ專賣局ガ仲介者ノ位置ニ立ツテ、榮種糴ヲ斡旋シテゴザルト云フヤウナ狀態デアリマスルガ故ニ、六月或ハ八月モ先マデ先物契約ヲサレテ居ルト云フノガ現在ノ狀態デアリマス、矢部政府委員ノ御答辯中ニ、課稅ハ是デ十分ダラウト云フ御話ガアッタヤウニ思ヒマスガ、私ノ聞達デアラバ結構デアリマス、隨テソレハ其御答辯中ニ糴代ト榮種油ノ價格ニ依テ、現在ノ狀態ニ於テ按分比例デ分配シヤウト云フ、斯ウ云フ思召ガアルノデアアルカ、ドウカ、煙草ノ栽培ニ付テハ無クテナラヌ位ノ地位ヲ占メテ居リマスガ故ニ、成ベク其點ヲ御考慮下サレテ、榮種糴ノ戻稅ニ付テハ一般ノ御配慮ニ預リタイト云フコトヲ一言希望ヲ申述べテ置キマス

○山本委員 只今矢部政府委員カラ、大豆ト榮種ノ油ニ付テハ需要其他ニ付テ大分相違ガアルト云フ御話ガアリマシタ、成程御話ノ通り内地ノ大豆ト云フモノハ大體食用ニ供セラルト云フコトデアリマスカラ、葉種ノ場合ト大

豆ノ場合ト必ズシモ同一デアルトハ私共考ヘマセヌケレドモ、併ナガラ製油業者ト云フ立場カラ参リマス、大豆油ヲ造リマス業者モ、菜種ノ油ヲ造リマス業者モ、全ク同ジ立場ニ立ッテ居リマス、現在ノ製油——菜種ノ製油業者ハ大體ニ於テ小規模ノ工場デモアリ、現在ノ關稅ノ狀況ニ於テハ非常ニ苦痛ヲ感ジツツアルヤウニ見エマス、殊ニ此小製造業者ガ多イ結果トシテ、戻稅ヤ何カモ成程假置場法案ニ依テ保護ヲ受ケルコトハ出來マスケレドモ、小サナモノガ多イ結果トシテハ、實際ニ於テ此戻稅ノ恩澤ニ浴シテ居ルモノモ大分少イヤウニモ見エマス、旁々此大豆油ノ大キナ方式ニ依テ全部戻稅ヲ受ケル製油業者ト小規則ナル菜種製油業者トノ間ニハ自ラ相當ノ差別ガアラウト思ヒマス、デ此製油業者ト云フ立場カラ之ヲ考ヘテ見マスルナラバ、大豆ノ製油業者ト、何等異ナル所ガナク、一方ニハ全ク全部戻稅ヲシ、一方ニハ輸出ヲスレバト云フケレドモ、輸出ト云フモノハナイノデ、内地ノミニ消費サレル場合デアリマスカラ、實際ノ油ノ方デモ四割ノ——四十錢ノ戻稅ヲスルツテ居リマス、ソレカラズツ引續イテ出來テ居リマス、ソレカラ只今ハ約三分ノ二ヲ自給シテ居リマシテ、三分ノ一ヲ外國カラ買入レテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

トシテ、戻稅ガ十分ニ参リマスレバ格別サウデナイ以上更ニ大豆製油業者ト、菜種製油業者トノ均衡ハ益取レスト云フヤウナコトニナラウト思ヒマス、此邊ニ付テハ更ニ政府當局ニ於テモ一段ノ御考慮ヲ仰ギタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○加藤委員長 御希望ダケデスナ

○山本委員 サウデス

○加藤委員長 ソレデハ他ニ御質問ノアル方ハ御發言ヲ願ヒタイ

○橋本委員 一言一寸御尋致シマス、此「オレイン」ト云フモノハ何ニ使ハレ

ルノデアアルカ、ソレカラ何時頃カラ日本デ拵ヘルヤウニナッタノデアアルカ、是ハ大體ドノ位ノ數量ガ出來ルカ、同時ニ需要供給ノ關係ハドウデアアルカ、之ヲ御尋致シマス

○平野商工技師 「オレイン」ノ主ナ用途ハ毛織物ノ製造デアリマス、其他石鹼等ニモ、特殊ナ石鹼即チ「マルゼン」

ス、何レカト申シマスレバ毛織物ノ製造ニ使ハレマス、ソレカラ是ガ我國デ出來マシタノハ大正七八年ノ頃ダト思

ツテ居リマス、ソレカラズツ引續イテ出來テ居リマス、ソレカラ只今ハ約三分ノ二ヲ自給シテ居リマシテ、三分ノ一ヲ外國カラ買入レテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

○橋本委員 略要領ヲ得タノデアリマスルガ少シ違ッタヤウニ存ジテ居リマ

スカラ一應申上ゲマス、用途ハ政府委員ノ仰ッシャッタ通りデアリマス、ソレカラ日本デ製造シ始メタコトモ其通りデアリマス、但シ今日ノ需要供給ノ關係ハ供給方ハ、餘リアルト云フコトニナッテ居リマス、外國品ヲ更ニ輸入シナクテモ宜シウゴザイマス、同時ニ内地ニ於テモ外國品ニ劣ラナイ品ガ出來ルヤウナコトニナッテ居リマス、ソレデスウ云フヤウナ物ハ他ニ賣レルモノデモアリマセヌシ、世界戰爭當時ハ必要ニ追ラレテ、詰リ戰爭ニ關シ軍器ト云フモノニ必要ナルガ爲ニ拵ヘタノデアリマシテ、隨分今日マデ苦心慘膽致シマシテ、相當ノ犠牲ヲ拂ッテ漸ク今日ハ自給自足ガ十分出來ルヤウニナッタノデアリマス、ソレニモ拘ラズ外國品ヲ輸入獎勵スルト云フ意味ニ於テ、現行稅ヲ今度其儘ニ据置ノヤウデアリマス

ガ、斯ウ云フモノハ非常ニ高イ稅ヲ取ラナケレバ這入ッテ來マシテ、日本ノ産業ハ矢張り潰レハセヌカト思フノデアリマス、是ハ製造所デモ澤山アレバ宜シイガ、ソナコトハナイ、僅カ小會社一二箇所デヤッテ居リマスガ、之ヲ保護シナケレバ何物ヲ保護スルカ、確ニ保護スル必要ガアル、サウスレバドウシテモ現行稅五圓ト云フモノヲ十圓ニ改正スル必要ガアルト思フノデアリマス、政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ、モウ一遍御答ヲ願ヒマス

○平野商工技師 「オレイン」ノ日本ノ供給ガ餘リアルト云フコトハ私モ認メ

テ居リマス、ソレデゴザイマスカラシテ、今回現行稅ヲ据置キマシタノハ、輸入獎勵スルト云フ意味ハ少シモ持ッ

テ居リマセヌ、午前ニ説明申上ゲマシタ通り、五圓ノ稅ヲ以テヤッテ行ケル、詰リ此五圓ノ稅ト云フモノハ保護稅デア

ル、斯ウ云フヤウニ認メテ居リマス、何故ソレナラバ只今はダケノ三分ノ一ノ輸入ガアルカト申シマス、油脂工業

ノ全體ガ只今悲況ニゴザイマス、其結果ト致シマシテ「オレイン」ニ付テモ外國品トノ競爭ガ稍困難ナ狀態ニゴザイ

マス、ソレガ爲ニ是ダケノ外國ノ輸入ガアルノデアリマス、ソレデアリマス

カラ本業タル所ノ油脂工業ガ、今回ノ關稅ノ改正ニ依テ其基礎ヲ確立スルコト

ガ出來マシタナラバ、此五圓ノ保護稅ト云フモノハ只今以上ノ開キヲ爲シテ

參リマシテ、之ヲ以テ優ニ只今ノ輸入ヲ驅逐スルコトガ出來ル、斯ウ云フヤ

ウニ認メテ据置イタ次第デアリマス

○橋本委員 只今ノ御説明ニ依ッテ、是以上私ハ追窮致シマスレバ議論ニナリ

マスカラ、此位デ止メテ置キマセウ、只今三分ノ一ノ輸入ガアルト云ッテ居リ

マスケレドモ、是ハモウ少シ關稅ヲ上ゲマシタナラバ、輸入ハ全ク杜絶シテ

シマヒマス、杜絶シマスト日本デ自給

ガ出來マシテ大變宜イコトト思ヒマス

ケレドモ、政府ト私ノ見解トハ違ヒマ

スカラ、此問題ハ是デ打切りマス、次ニ

供給ガ餘リアルト云フコトハ私モ認メ

テ居リマス、ソレデゴザイマスカラシ

テ、今回現行稅ヲ据置キマシタノハ、輸

入ヲ獎勵スルト云フ意味ハ少シモ持ッ

テ居リマセヌ、午前ニ説明申上ゲマシ

タ通り、五圓ノ稅ヲ以テヤッテ行ケル、詰リ此五圓ノ稅ト云フモノハ保護稅デア

ル、斯ウ云フヤウニ認メテ居リマス、何故ソレナラバ只今はダケノ三分ノ一ノ輸入ガアルカト申シマス、油脂工業

ノ全體ガ只今悲況ニゴザイマス、其結果ト致シマシテ「オレイン」ニ付テモ外國品トノ競爭ガ稍困難ナ狀態ニゴザイ

マス、ソレガ爲ニ是ダケノ外國ノ輸入ガアルノデアリマス、ソレデアリマス

カラ本業タル所ノ油脂工業ガ、今回ノ關稅ノ改正ニ依テ其基礎ヲ確立スルコト

ガ出來マシタナラバ、此五圓ノ保護稅ト云フモノハ只今以上ノ開キヲ爲シテ

參リマシテ、之ヲ以テ優ニ只今ノ輸入ヲ驅逐スルコトガ出來ル、斯ウ云フヤ

ウニ認メテ据置イタ次第デアリマス

○橋本委員 只今ノ御説明ニ依ッテ、是以上私ハ追窮致シマスレバ議論ニナリ

マスカラ、此位デ止メテ置キマセウ、只今三分ノ一ノ輸入ガアルト云ッテ居リ

マスケレドモ、是ハモウ少シ關稅ヲ上ゲマシタナラバ、輸入ハ全ク杜絶シテ

シマヒマス、杜絶シマスト日本デ自給

ガ出來マシテ大變宜イコトト思ヒマス

ケレドモ、政府ト私ノ見解トハ違ヒマ

スカラ、此問題ハ是デ打切りマス、次ニ

供給ガ餘リアルト云フコトハ私モ認メ

テ居リマス、ソレデゴザイマスカラシ

テ、今回現行稅ヲ据置キマシタノハ、輸

入ヲ獎勵スルト云フ意味ハ少シモ持ッ

テ居リマセヌ、午前ニ説明申上ゲマシ

タ通り、五圓ノ稅ヲ以テヤッテ行ケル、詰リ此五圓ノ稅ト云フモノハ保護稅デア

ル、斯ウ云フヤウニ認メテ居リマス、何故ソレナラバ只今はダケノ三分ノ一ノ輸入ガアルカト申シマス、油脂工業

ノ全體ガ只今悲況ニゴザイマス、其結果ト致シマシテ「オレイン」ニ付テモ外國品トノ競爭ガ稍困難ナ狀態ニゴザイ

マス、ソレガ爲ニ是ダケノ外國ノ輸入ガアルノデアリマス、ソレデアリマス

カラ本業タル所ノ油脂工業ガ、今回ノ關稅ノ改正ニ依テ其基礎ヲ確立スルコト

ガ出來マシタナラバ、此五圓ノ保護稅ト云フモノハ只今以上ノ開キヲ爲シテ

參リマシテ、之ヲ以テ優ニ只今ノ輸入ヲ驅逐スルコトガ出來ル、斯ウ云フヤ

ウニ認メテ据置イタ次第デアリマス

○橋本委員 只今ノ御説明ニ依ッテ、是以上私ハ追窮致シマスレバ議論ニナリ

マスカラ、此位デ止メテ置キマセウ、只今三分ノ一ノ輸入ガアルト云ッテ居リ

マスケレドモ、是ハモウ少シ關稅ヲ上ゲマシタナラバ、輸入ハ全ク杜絶シテ

シマヒマス、杜絶シマスト日本デ自給

ガ出來マシテ大變宜イコトト思ヒマス

百八デゴザイマス、此中ノ牛脂デアリマス、是ハ今マデ無稅デアッタモノヲ一圓二十錢ノ課稅ヲシタヤウデアリマス、是ハドウ云フ意味ニ於テ課稅スルヤウニナッタノデアルカ、其原因ヲ御尋致シタイトデアリマス

○矢部政府委員 牛脂ハ用途ガ甚ダ廣イノデアリマシテ、石鹼「グリセリン」等ノ原料トナリマシテ、濠洲支那等カラ輸入セラレル額モ少クナイイノデアリマス、先年「グリセリン」事業ヲ保護シ、尙ホ石鹼ノ製造ニモ便利ヲ與ヘ、石鹼ノ輸出ヲ獎勵スル爲ニ之ヲ無稅ニ致シタヤウナ譯デアリマス、現在這入リマス額ハ貿易表ニ就テ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、少クナイイノデアリマス、是ニ對シテ一方戰爭中ニ人造牛脂ナルモノガ製造サレルヤウニナリマシタ、是ハ種々ナ油ガ外國ヘ戰爭中ニ輸出サレテ居ッタ、油デ輸出シマス容器ナドニ不便ガアリマスカラ、水素瓦斯ヲ通ジテ硬化スル、サウスルト容器ナシニ箱詰デ外國ニ輸出サレルノデ、大變便利デアリマス、所ガ戰爭ガ起リマシテ、歐羅巴ノ需要ガ衰ヘ、内地ニ於テ相當ニ發達シ、殆ドソレノ性質ガ牛脂ト似テ居ルノデアリマス、段々改良サレマシテ、原料ニ依リマシテハ殆ド近ク同ジヤウニ用キラレル、一方天然ノ牛脂ト云フモノヲ多額ニ外國ニ仰ゴヨリモ、内地デ出來ル硬化油ナルモノヲ保護スルニ如カズト云フ考ガ自然茲ニ浮

ンデ來ル、ソレデ茲ニ相當課稅ヲ致シマシテ、内地ノ硬化油業ヲ保護スルト云フ考ヲ以チマシテ、牛脂ニ對シテ一圓二十錢ノ課稅ヲ致シマシタ、牛脂ハ近來非常ニ値ガ高クナリマシテ、是ダケハ特別ニ十三年ト十二年ヲ平均致シマシテ、先ヅ大體二十四圓位デアラウト思ヒマス、先ヅ原料品トシテハ低イ所ノ率ノ五分位ヲ土臺ニ致シマシテ、一圓二十錢ト云フモノヲ茲ニ組ミマシタ、内地ニ於ケル硬化油トノ關係上、此率ヲ設ケタヤウナ次第デアリマス

○橋本委員 矢部サンノ御説明ニ依テ能ク分リマシタカラ、ソレニ對シテモウ一點御尋致シマス、内地ノ硬化油、礦油業ヲ助ケル爲ニ之ニ課稅シタト云フ御話デアリマス、サウスルト滿洲カラ最近ニ——最近ト云フトオカシイガ、滿洲カラ日本ニ現在來ツツアル硬化油、之ニ對シテ現在五圓ノ課稅ヲ致シテ居リマス、此五圓ノ課稅ヲ今回一圓二十錢ニ引下ゲヤウト云フヤウナ御内意ガアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、是ハ此委員會ニ或ハ付託サレハセヌカト云フコトヲ聞イテ居リマス、現在五圓デ滿洲カラ來ツツアル硬化油ヲ一圓二十錢ニ引下ゲテ、硬化油製造業者ヲ援護スルコトガ出來ルカドウカ、無稅デアッタ牛脂ト云フモノヲ一圓二十錢ニ引止ゲタ、是ハ硬化油製造業者ヲ助ケルト云フ意味ニ於テヤッタ、然ラバ滿洲カラ來ル所ノ硬化油、之ニ

對シテ現在五圓取リツツアル所ノ課稅ヲ之ヲ引下ゲルト云フコトニナルト、丁度反對ニナル、一方ニ引上ゲ、一方ニ引下ゲル、マルデ矛盾撞着ノヤウニ思ヒマス、總テ政府ノ遺方ハ凡ソ斯ウ云フモノト思ヒマスケレドモ、餘ニ矛盾撞着モ甚シイヤウニ思ヒマスカラ、一寸御尋スルヤウナ次第デアリマス

○矢部政府委員 私カラ御答スルヨリモ黒田主稅局長ヨリ御答シタ方ガ宜イト思ヒマス

○橋本委員 マア貴方カラ宜イデセウ

○矢部政府委員 今迎ヘニ行キマシタカラ暫ク御待ヲ願ヒマス、他ノ問題ニ御移リニナルヤウニ願ッテ置キマス、主稅局長ガ參リマシタラ御答スルコトニ致シマス

○佐々木委員 九十七番ノ蓖麻子油ニ付テ質問致シタイト思ヒマス、蓖麻子油ヲ製造シマス原料ニ付テハ無稅ニナッテ居ルノデアリマスガ、蓖麻子油ノ輸入ニ付テハ百斤二圓二十錢ノ現行法据置ニナッテ居リマス、段々油ノ需要ヲ聞イテ見マスト、最近ニ於キマシテハ各種ノ工業又醫藥用、更ニ又飛行機ノ發達ニ伴ヒマシテ需要ハ非常ニ増加シテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、又此製造ニ付テモ近來著シク進歩シテ來テ居ルサウデアリマスガ、ドウモ支那方面カラ這入ッテ來ルモノハ、私ガ見マスルト云フト勞働賃銀等ノ關係カラシテ、

今尙ホ對抗スルコトガ困難ナヤウニ聞イテ居リマス、ソレデ今回ノ改正ニ際シマシテ幾割カラ増加致シマシタナラバ、全ク此蓖麻子油ノ製造工業ハ輸入ヲ防グト云フヤウニ聞イテ居リマシタ、之ニ對シテ如何ナル御考ヲ御持チニナッテ居リマスカ、御伺ヒ致シマス

○矢部政府委員 只今御尋ノ蓖麻子油ノ稅率ハ二圓二十錢デアリマスノヲ据置キマシテ、二圓二十錢トスルト云フノデゴザイマス、是ハ適當ト認メマシタノデアリマス、御覽ノ如ク蓖麻子油ハ内地ノ生産ヲ以テシテハ到底足リナイノデアリマシテ、支那其他カラ輸入ヲ仰ゴコトニナッテ居リマス、之ニ對シマシテハ製油業ノ便利ヲ圖リマス爲ニ、無稅ニ致シテ居ル、全然是ハ戻稅トカ何トカ云フ問題デナク、輸入サレル時分ノ稅ヲ無稅ニ致シテ居リマス、是ハ營業者ニ取ッテハ非常ナ恩澤デアラウト考ヘマス、一方此油ノ稅ヲ上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、ドウカト云ウト、御承知デモゴザイマセウガ、蓖麻子油ハ工業上非常ニ是ハ大切ナ油デアリマシテ、之ノ値段ノ上ルト云フコトハドウカト思ヒマス、決シテ油ノ事業ヲ無視スルト云フ譯デハナイ、之ヲ用ヒル所ノ事業ト云フモノガ大分工業上デハ大切ナ油デアリマスカラ、其値段ノ上ルト云フコトモ考慮シナケレバナラヌ所カラシテ据置クト云フコトニ決リマシタ

○佐々木委員 百七番ノ魚油及鯨油ト云フ此項ニ付テ御尋ヲシテ置キマス、現行法ニ依リマス、魚油及鯨油ハ百斤一圓三十錢ノ稅ヲ課セラレテ居リマシタガ、改正法ニ依リマス、無稅ニナシテ居ル、只今政府委員ノ御説明ヲ御伺シテ見マス、戰爭中ニ於テハ人造牛脂等ガ出來テ、是等ノ用途ハ頗ル盛デアッタ、段々聞イテ見マス、人造牛脂ノ原料ノ主ナルモノハ魚油デアルカノヤウニ承知シテ居リマス、尤モ色々ナ他ノ種類ノモノモ混淆サレテ居ルカモ知レマセヌガ、牛脂等ニ對シテハ稅率ヲ増加シテ居ルニモ拘ラズ、單リ魚油及鯨油ニ限ッテ全然無稅ニシタト云フ其理由ハ何處ニ置イテアルノデアリマスカ、先ヅ以テ其無稅ニ致シマシタ所ノ其理由ヲ御尋シテ見タイト思ヒマス

○矢部政府委員 是ハ先程岩切君デゴザイマスカ、カラ問題ガ起リマシタノデ、速記録ヲ御覽ヲ願ヒマス

○岩切委員 モウ一ツ承リタイト思ヒマス、是ハ石油ノ問題デスガ、此稅率ヲ見マス、大體原油ノ方ハ安クテ、精製品ハ高クナッテ居リマス、是ハ尤モダラウト考ヘマスガ、石油ト云フモノハ是非常ニ國防上又日本ノ將來ノ爲ニ非常ナ大問題ダト考ヘマス、此原油ニ對スル稅率ハ、是ハドウ云フ趣旨デ此率ニナッテ居ルノデアリマスカ、殊ニ石油業ト云フモノハ日本ニ於テ今日デハ限

度ガアリマスカ、到底我國ノ工業上ニ使用スルニ不十分デアルトスルナラバ、寧ロモット安イモノヲドシ入レテ、平和ノ時代ノ工業ノ發展ヲ圖ル方ガ宜イデハナイカト考ヘマス、是ハ非常ニ大キナ圖案ノ上カラ立案サルベキモノデアルト考ヘマスガ、此點ニ對スル御當局ノ根本的ノ御話ガ伺ヘレバ非常ニ結構ト思ヒマス、百十二ニ在ル礦油、二ノ甲是ハ「ギャソリン」ダウト思ヒマスガ、自動車ノ「ギャソリン」ナドハ今後我國ニ於テハ最モ盛ニ使用サレテ、殆ド交通機關、交通發展ノ基礎ヲ爲ス工業ダウト考ヘマス、之ニ對シテ何カ、ドウ云フ方針デアッタト云フ大キナ御考ガアルナラ一ツ聞キタイト思ヒマスガ、御説明ヲ願ヒマス

○矢部政府委員 礦油ハ輸入ガ非常ニ多イノデゴザイマス、此貿易表ニゴザイマス通り六千萬圓モ輸入ヲ致シテ居リマス、尙ホ内地ノ生産額モ非常ニ多イノデアリマシテ、貿易品ト致シマシテモ、産業ト致シマシテモ、油ノ中ノ大宗タルモノデゴザイマシテ、餘程注意ヲ致サナケレバナラヌノデアリマス、今回ノ改正ニ付キマシテモ、計算ハ勿論當局ニ於テ稅率關係ニ付テモ大藏省ニ於テ調査ヲシタ結果、斯様ナル稅率ガ出來マシタ、之ニ付キマシテハ現行法ヲ御説明致ス必要ガアラウト思ヒマスノデスガ、現行法ノ對照表ニ付テ、下段ノ現行稅表ヲ御覽ヲ願ヒタイト思ヒ

マス、現行稅表ノ「原油」ハ原油デアリマシテ「其ノ他」ト云フノカラ製造サレタ油ニナリマス、其甲ノ〇・七三〇ヲ超エザルモノト云フノガ揮發油ニ相當スル、乙ノ〇・八七五ヲ超エザルモノト云フノガ燈油ニ相當スル、丙其ノ他ト云フノハ大體ニ於テ機械油、輕油ニ相當致シマス、所デ此現行法ノ中心點ハ何處ニ在ルカト申シマス、二其點ガアリマス、ソレデ從來日本ニ於キマシテハ燈油ノ生産ト云フモノガ多ク、又外國カラ入りマスモノモ燈油ノ方ガ多イノデゴザイマシテ、總テ製造家モソレニ力ヲ注ギ、輸入業者モソレニ力ヲ注イデ居リマシタ、所ガ色々近來ニ於キマシテ事故ガ起ッタ結果、稅率ガ非常特別稅其他ノ爲ニ段々上ッテ參リマシテ、九十六錢ト云フ稅金ニナリマシタ、十「ガロン」九十六錢、即チ一箱ニ斗ニ付キマシテ九十六錢ノ稅ヲ課スルコトニナッテ居リマス、是ガ礦油ノ中心點デアアルノデアリマシテ、先年我國ノ原油ダケデハ足りナイノデ、外國カラ原油ヲ入レテ製油ヲスル——内地ニ原油ヲ供給スルト云フ事業ガ起リマシタノデゴザイマスガ、ソレハ有名ナル「南北石油會社」ト云フモノガ設立サレテ、外國カラ原油ヲ入レルト云フコトニナリマシタ、所ガ稅率ガ「ランプ」油ニ重キヲ置イタ、原油ニ對シテハ稅率ガナ

イデ、其他ノ油ト云フ即チ油ニ課稅ス

ル率ヲ適用スルコトニナッタノデ、ソレデハ不當デアリマス所カラ、原油ノ稅率ヲ造リマシタ、ソレニ原油ナルモノハドウシテ課稅シテ宜イカ、始終産地ノ狀況ヲ調べ、尙ホ輸入原油ノ性質ヲ調べテ、斯様ナ分割ヲシテ稅率ヲ決メタノデアリマスガ、元ト内地ニ於キマシテハ、燈油ヲ主トシテ使ッテ居リマシテ、之ガ主ナルモノデアアルカラ、燈油ヲ根本ニシテ、燈油ノ取レル原料ヲ標準トシテ課稅ヲスルコトニ致シマシタ、所ガ近來ニナリマシテ用キラレル用途ガ頗ル變ッテ來タノデアリマス、諸工業ノ發達ニ連レテ、原動力ヲ使フ車ガ多ク行ハレルコトニナッテ居ル所カラ、揮發油ガ非常ニ使ハレルヤウニナリマシタカラ、揮發油ノ原料ノ値段ガ段々騰貴シテ、貴イ油ニナッテ、燈油以上ノ油ニナリマシタ、茲ニ於テ内地ノ製造家ハ成ベク燈油類カラ取レルダケ揮發油ヲ取ッテ、此方ニ向ケルト云フコトニナリマシタ、外國ノ輸入業者モ揮發油ヲ主トシテ入レルヤウニナリマシタノデ、燈油ガ段々減シ行クノデアリマス、尙ホ燈油トシテ輸入サレタモノモ、近來農村ニ於テ石油發動機ナドニ使ハレルヤウニナッテ參リマシタガ、斯様ナ狀態デアリマスカラ現在ノ石油ノ稅率ハ——燈油ノ稅率ハ時勢ニ適セザルモノトナリマシタ、是等ノ缺點ヲ改メルノガ今回ノ改正ニ於テ主眼ト致ス所デアリマス、尙ホ此稅率ニ付テ只今御尋ノ

如ク上ルカ下ゲルカト云フノガ問題デアリマスルケレドモ、内地ノ消費ガ段段増加シテ來ル點カラ云フト、下ゲテ成ベク安ク供給スル方ガ宜カラウト云フコトニナリマスルケレドモ、一方内地ノ事業ヲ見マスルト、非常ニ多大ナ資本ヲ投ジテ、各方面ニ涉ッテ事業ヲ致シテ居ルカラ、之ノ衰微ヲ來スト云フコトモ、亦一面考ヘナケレバナラヌノデアリマス、統計ノ示ス所ニ依リマスルト、燈油ノ産額ハ決シテ殖エテ居ラヌ、稍行詰リノヤウナ状態ニナッテ居リマスケレドモ、決シテ悲觀スベキモノデハナイト思ヒマス、各所ニ於テ試掘サレテ居ル結果ニ依リマスルト、時々噴出スルノデアリマスガ、現ニ臺灣ノ如キハ苗栗附近ノ如キモ、近來重要ナ礦油ノ産地ニ變ッタヤウナ譯デ、是ハ決シテ悲觀スベキモノデハナク、尙ホ努力シテ試掘ヲ致サナケレバナラヌ時代デアルト考ヘテ居リマス、殊ニ昔ハ手掘デヤッテ居ッタノガ、上總掘ニナリ、上總掘ガ機械掘トナリ、機械掘ガ「ロータリ」ニ變ッテ、三千尺、四千尺、五千尺、六千尺ト云フ事ニナッテ、現ニ越後デ西山油田ノ如キガ、發見サレタノデアリマスガ今此處デ見限ヲ付ケルト云フノガ早計デアル云トフノデ、成ベク其稅率ノ均衡ヲ失セザルヤウナ方法ニ於テ、現在ノ事情ニ適スルヤウニシ、缺點ヲ除カウト云フノデ出來タノデアリマス、即チ御覽ノ如ク百二十度カラ二百

七十五度ノ間ノモノ、即チ「ランプ」油ヲ土臺ニシテ居リマシタノデ、今回ハ揮發油ノヤウナ價值ノアル油モ之ニ包含シテ標準トスル事ニ致シマシタ、併ナガラ其範圍ヲ廣ク致シマス云フト、稅率ハ非常ニ高ク課稅シナケレバナリマセヌカラ、一圓七十錢ト云フモノニ付テハ同一デアリマスルケレドモ、段々ニ其稅率ガ違ッテ居リマス、率カラ申シマスルト輕減サレタヤウニ見エマスケレドモ、其標準油ノ範圍ト云フモノガ違ッテ居リマスカラ、決シテ輕減シタノデハナイ、實際ニ輸入サレル油ヲ分析致シマシテ、現行法律ニ依テ當箱メテ見ルト、又改正案ニ依テ當箱メテ見ルト、同様ノ稅率ガ殆ド掛ケラレル事ニナッテ、特ニ輕減ヲ茲ニ企テタノデハナク、現在ノ事情ニ適シタヤウニシタノデアリマス、是カラ後ニ此揮發油ニ付キマシテモ、現在揮發油ト云フ立派ナ油ヲ酒ヤ醬油ト違ヘテ區別スルノハ甚ダ宜シクナイ、ソレ以上ニ課稅シナケレバナラヌ、成程價力ヲ申シマスルト、ソレ以上ニ課稅スルノガ至當ノヤウデアリマス、燈油ノ方モ近頃ハ隨分高イ課稅ヲシテ居リマスルケレドモ、農村等ニ於テ石油發動機ニ使ヒマスルニ過ギマセヌ、是又考ヘナケレバナラヌ所カラシテ、適當ナル處置ト致シマシテ、揮發油ト燈油トヲ混合致シマシテ、總平均ニ於テ現在ト同ジ收入ヲ得ルト云フ事ニ致シ、彼此レ甲乙ノナイ

ヤウニ致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ二ノ乙ニアル〇・九二一八ヲ越エザルモノ、是ハ五二二度ヲ限界ニ致シマシタノデアリマスガ、現在ニ於テハ此丙ノ中ニ在リマス百斤一圓二十三錢ノ稅金ヲ掛ケラレテ居ッタ油デゴザイマス、之ガ百「ガロン」マデ七圓ノ稅金ヲ課セラレルコトニナッタノデアリマスガ、是ハ便宜上容量ニ改メタダケデアリマシテ、比重カラ換算シタノデハナイ、決シテ量目變更ヲ茲ニ企テタノデハナイガ、目方ニスルト一圓二十三錢内外低減ヲ見ルノデアリマス、此油ハ漁業家ノ使フ油デゴザイマシテ、價格モ少クナイ之ヲ引上ゲルト云フコトハ到底爲スベカラザルコトデ、又引下ゲルト云フコトモ出來ヌ、一方内地デ使フ額モ多イノデ、上ルコトモ下ゲタルコトモ出來ナイ譯デアリマス、唯困タコトハ此丙ノ中ニ機械油ガ之ト同一ナ比重ヲ以テ居ルナラバ、之ト同様ニ据置ニサレルコトニナリマスルケレドモ、是ハ今ノ水産家ノ使フ所ノ油ヲ擁護スル爲ニ致方ガナイノデ、是ダケハ缺點デアリマスルケレドモ、仕方ガナイ、併ナガラ内地ノ機械油ニ對シテ影響ガアルカト云フト、影響ハ多少アリマサガサウハナイ積リデアリマス、内地ノ機械油ハ此丙ニ相當スルモノガ多イノデゴザイマシテ、是ハ原油ノ性質上重イ方ニ向ケラレテ居ルカラシテ、衝突ハナイ積リデアリマス、大要右ノヤウ

ナ方針カラ出來マシタノデアリマス
○岩切委員 率ノ御計算ハ承知致シマシタガ是ハ農林省デモ今、日本デ一箇年使用スル油ト、ソレニ對スル内地ノ生産ト、外國カラ持ッテ來ル割合及ビ日本ハ將來ドノ程度ニ油ガ生産サレマスカト云フ見込ノ數字ヲ「チョット簡單ニ後デモ宜シウゴザイマスガ、御示ヲ願ヒマス」
○三井鑛山局長 只今ノ御質問ニ御答致シマス、我國ニ於ケル現在ノ需要高ハ陸海軍用ヲ除イテ凡ソ四百五十萬石、其中内地ノ生産ガ現在デハ百六十萬石内外デアリマス、後ガ外油ノ輸入デアリマス、大體サウ云フモノデ、將來日本ニ於ケル生産ハドウ云フモノデアラウカト云フ御話デゴザイマシタガ、只今矢部政府委員ヨリモ御話ニナリシタ通り、現在ニ於テハ百六十萬石デゴザイマスルケレドモ、最盛時ニハ二百數十萬石出油致シマシタコトモゴザイマス、尙ホ近來ノ狀況ヲ見テ見マスルト、機械掘ガ成功致シマシテ、相當ノ效果ヲ收メツツアルノデゴザイマス、尙ホ北海道其他日本ニ於ケル石油地帶ト呼バレテ居リマスル所モ、マダ十分ニ試掘ガ行ハレテ居リマセヌノデ、是等ノ點ニ付テモ追々試掘ガ行ハルコトニナリマスナラバ、相當ナ出油ヲ見ルダラウト思ハレマス、併シ是ハ今數字ヲ以テ現ハスコトガ出來マセヌノハ遺憾デゴザイマス、決シテ心配スル必要ハ

ナイト思ッテ居リマス

○長田委員 ソレカラ百十二番ノ一、
原油「トッピン」シタルモノトアリマ
ス、是ハドウ云フノデスカ御説明ヲ願
ヒマス

○矢部政府委員 是ハ現在現行法ニ於
ケル所ノ缺點ヲ直ス爲ニ加ヘマシタノ
デゴザイマシテ、先ヅ今マデノ蒸餾法
ヲ御説明申ス必要ガアラウト思フノデ
スガ、油ヲ精製スルニ當リマシテハ、原
油ヲ釜ノ中ニ入レマス、ソレヲ蒸餾シ
テ、最初出テ來ル油ガ揮發油デゴザイ
マス、ソレカラシテ今度或ル所デ止メ
テ、其次ニ出テ來ルノガ普通ノ石油、燈
油ガ出テ來ル、其次ニ出テ來ルノガ輕
油、重油、釜ノ中ニ「ビッチ」ガ殘ルト云
フ譯ニナル「トッピン」シタルモノト
云フノハ揮發油ノ最初出テ來ル所ヲ一
寸取ッタ油、ソレヲ斯ウ申スノデアリマ
ス、所デ現行法ニ於キマシテ、一ハ原油
デアリマスカラ、ソレヲ「トッピン」シ
タモノハ包含サレナイ譯デゴザイマ
ス、所ガ其「トッピン」致シマシタモノ
ガ輸入ヲシテ來マシテ、是ガ原油デア
ルトカ原油デナイト云フ議論ガ絶エナ
イ、所ガ分析ヲ致シマシテモ、產地ニ依
テ揮發油ノナイ油ガ澤山アリマス、現
ニ「カリフォルニア」ノ油ノ如キハ揮發
分ガ少イ、其揮發油ノナイ油ハ相當ニ
アル、日本内地ノ新津ノ油ノ如キハ、揮
發油ガ甚ダ少イ、斯様ナル油ヲ他ノ油
ト鑑識シヤウトシテモ、中ミ見分ケル

コトハ到底出來ナイノデアルカラ、之
ヲ一緒ニ包含サセルコトニ致シマシ
タ、但シ此甲乙丙丁ト云フ中カラ出テ
來ル所ノ分量ニ依テ課稅致シマスカラ
シテ、分析ヲ致シテ課稅スルノデアリ
マスカラ、不公平ハ其處ニ起ラヌ答ナ
ノデアリマス

○長田委員 只今ノ御説明ニ依リマス
ト云フト、各溫蒸餾法ト云フノガ只今
ノ御話デアリマスカ、ソレカラ今一
ツ伺ッテ置キマスガ、鑛山局長ノ御説明
ニ依リマス、將來ニ此礦油ハ、日本ニ
於テ自足自給シ得ルモノト了解シテ宜
ウゴザイマセウカ

○三井鑛山局長 ソレハ甚ダ疑問デゴ
ザイマシテ、近キ將來ニ於テ自足自給
ト云フ域ニ達スルコトハ甚ダ困難ダト
思ッテ居リマス、併ナガラ相當ノ額ハ出
ルダラウト思ヒマス、ドウモ能ク分リ
マセヌ

○沼田委員 先刻橋本君ヨリ質問サレ
マシタ石鹼ノコトニ付テ御尋致シマ
ス、明治四十三年改正ノ當時ノ政府ノ
意見ト、今日ノ政府ノ意見トハ、マルキ
リ正反對ノ現象ヲ呈シテ居ル、四十三
年ニ遡ッテ私考ヘマスト、石鹼ハ海外輸
出品ノ中デ最重要ナモノデアルト云
フ政府ノ見解ニ依テ、凡ソ石鹼ノ材料
トナルベキモノハ悉ク之ヲ無稅ニスル
ト云フ方針ヲ立テタノデアリマス、即
チ九十五ノ植物性揮發油、芳香性ノモ
ト、是ガ衆議院ニ於キマシテハ贅澤品

ダト云フ爲ニ、之ヲ有稅ニ修正サレタ
サウシテ貴族院ニ於キマシテハ、是ハ
石鹼ニ必要ナル材料デアアル、海外貿易
ニ非常ノ關係ヲ及ボスモノデアアルガ故
ニ、是ハ無稅トスベキモノナリトシテ、
兩院協議會ノ結果ガ四十三年ニ無稅ニ
ナッタノデアリマス、然ルニ今回又是ハ
贅澤品トシテ、無稅カラ一躍十割ノ稅
ヲ掛ケラレテ居ル、サウシテ石鹼ノ材
料トナルベキ主ナル物ハ牛脂デアリマ
スガ、其牛脂ハ其當時無稅デアッタノ
ガ、今回ハ又之ヲ百斤一圓二十錢ト
云フ稅ヲ御掛ケニナル、此貿易關係ヲ
統計表カラ見マスルト、十三年ハ此石
鹼ノ輸出ハ三百六十六萬餘圓デアリマ
シタノガ、十四年度ニ至リマシテ二百
五十七萬圓ト云フ減少ヲ來シテ居ル、
斯ノ如キ結果ニナッテ來テ居ルモノヲ、
更ニ之ヲシテ益發展セシムルト云フコ
トガ産業保護デ、是ガ關稅定率法ノ御
改正ノ趣旨デナケレバナラヌニ拘ラ
ズ、而モ一方ニ於テハ贅澤品トシテ、此
必要ナル所ノ芳香性ノ揮發油ニ對シテ
稅ヲ掛ケル、サウシテ其材料トナルベ
キモノニ對シテハ、今申ス通り百斤一
圓二十錢ヲ掛ケルコトニ致シマスレ
バ、果シテ石鹼ノ海外貿易ガ十分ニ保
護シ得ラレルカ、石鹼事業ノ向上發達
ヲ爲サシメ、産業保護ノ目的ニ合スル
ト云フ政府ノ御趣意ガアルトスルナラ
バ、之ニ對スル詳細ナル御説明ヲ承リ
タイ

○矢部政府委員 石鹼ノ原料タル油
脂、竝ニ芳香性揮發油ニ付テノ御尋デ
ゴザイマス、牛脂ニ付テハ少々御尋ガ
誤ラレテ居ルヤウニ考ヘマスガ、牛脂
ハ明治四十三年ノ改正ニ於キマシテ
ハ、百斤八十錢ノ稅金ヲ掛ケラレタノ
デゴザイマス、屢ニ變ッテ居ルガ、生
產事業ノ變遷ニ依テ已ムヲ得マセヌ、
牛脂ニ付テハ八十錢ノ稅ヲ掛ケテ居リ
マシタガ、内地ニ於テ「グリセリン」ノ
事業ヲ保護スル、是ガ爲ニ特ニ補助金
マデ與ヘルト云フヤウナ次第デアリマ
シテ、其原料ニナルモノハ、大正九年ニ
ソレノ無稅ニ致シマシタ、其無稅ニ
ナッタガ爲ニ、石鹼業ノ保護モ其利益ヲ
受ケルト云フコトニナリマシタコトハ
間違ヒハナイ、今回牛脂ト同様ニ使ハ
ル所ノ硬化油ガ起ッテ、ソレガ相當ニ大
キナ事業デアッテ見マスレバ、多少ノ權
衡ヲ取ルト云フコトハ已ムヲ得ヌ所ト
考ヘテ居ル、ソレカラ芳香性揮發油ニ
付キマシテハ、御承知ノ只今御話ノ如
ク四十三年ノ改正ニ於テ無稅ニ致シマ
シタノハ、石鹼ノ事業ヲ獎勵ヲ致シテ、
外國輸出ヲ助長サセルト云フ方針カラ
來テ居リマス、併ナガラ之ガ全部輸出
サレルモノナラバ、其儘宜シイノデ
アリマスケレドモ、近來内地用ニ使ハ
レルモノガ頗ル多イノデアリマス所カ
ラシテ、贅澤稅ヲ設ケル際ニ當リマシ
テハ、最モ第一ニ贅澤稅ニ入ルベキモ
トシテ數ヘラレタノデアリマス、併

ナガラ普通ノ石鹼ニ供セラレルモノハ、是ハ贅澤税ト見ルノハ酷イト云フ議論ガアリマシタ所カラ、次ノ議會ニ於テ贅澤税カラ除カレマシテ、現行法ノ如ク無税ニ移リマシタモノガ多イノデアリマシテ、之ニ依テ普通使フ所ノ石鹼ト云フモノハ左様ニ故障ヲ受ケテ居ラヌ見込デゴザイマス、斯様ナ原料ニ重イ税ヲ掛ケルト云フコトハ避クベキ事ト考ヘテ居リマスケレドモ、併ナガラ之ガ輸出ノミニ供セラレルモノデナクシテ、相當内地ノ方ニ仕向ケラレルモノガ多ク、是ハ現在ノ貿易事情ニ鑑ミマシテ、之ヲ緊縮サセルト云フコトガ必要デアル、或ル部分ノモノニ對シテ十割ノ重キヲ掛ケルト云フコトハ致方ナイト考ヘテ居リマス、石鹼ノ事業ニ對シテハ、無税ニ殘ッテ居ルモノヲ使ヘバ相當辨ジテ行ク見込デアリマス

○沼田委員 今御説明デアリマシタ石鹼材料ニハ、牛脂ノ外ニ硬化油ヲ使フモノハ、私ノ聞ク所ニ依リマスト大工場ノ四五ノ工場ノミガ自家製ノ石鹼ノミニ使用セラレテ居ル、一般ノ石鹼製造業者、小サナ製造業者ニ對シマシテハ、何等ノ便宜ヲ得テ居ラナイ、矢張等シク牛脂ヲ主ニ使ッテ居ルト云フコトヲ承ッテ居ルノデアリマス、是ハ間違ッテ居ルト言ハレルカモ知レマセヌガ、私大阪ノ方ニ歸ッテ調査致シマシタ所ニ依リマス、左様ナ現象デアッタノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマス、

硬化油ノミヲ以テ石鹼ノ製造ニハ當テラレテ居ラナイ、翻テ牛脂ト云フモノハ、我國ニ果シテ海外ノ輸入ヲ求メナクテモ、石鹼製造ニ何等ノ支障ヲ與ヘナイカト申セバ、入レナイデハドウシテモヤレナイコトハ事實デアル、是ハ統計ガ明ニ輸入額ヲ示シテ居ルニ依リマシテモ、能ク分ルト思ヒマス、左様ニナリマスレバ此石鹼ノ唯一ノ材料トナルベキモノニ對シテハ、改正ノ趣旨デアル産業保護ト云フ上カラ見テ、無税デアル現在ノ通りニヤリニナルコトガ適當デハナイカト思フノデアリマス、見解ガ違フト云フコトヲ仰セラレルナラバ已ムヲ得セマヌガ、重ネテ承リタイ

○矢部政府委員 此問題ハ先刻橋本サシカラ御尋ニナッタコトト絡ンデ居ルヤウデアリマス、是ハ詳細ニ御話ヲシナイト御説明モシニクイシ、御質問ナサル方モ諒解シガタイト思ヒマスカラ、主税局長ガ出ラレタトキニ兩方ノ御尋ヲ併セテ御説明申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマス、暫ク御猶豫ヲ願ヒマス

○沼田委員 チョット此機會ニ御尋シテ置キマス、魚油ト鯨油デアリマスガ、魚油鯨油ハ無税トナッテ居リマスガ、鯨肉ガ一割五分掛ケテ居リマス、内地デ鯨肉ヲ以テ油ヲ造ルト云フコトニ致シマス、決シテ輸入品ニ對抗スルコトハ出來ナイ結果ガ生レテ來ハシナイカト思ヒマス、是ハドウ云フ見解デアリマス、最初ノ第九條ノ第二項ニ依

テ、相當ノ戻税トカ其他ノ方法デ獎勵金デモ御出シニナル御積リデアリマスカ、斯ウ云フ類ノモノハ澤山アルト思ヒマス、落花生油ノ如キモサウデアルト思ヒマス、是ハドウ云フ事ニナッテ居リマス

○矢部政府委員 只今ノ御尋ハ午前中岩切サンカラソレト同一ノ質問ガアリマシテ、御答ヲ致シマシタ、佐々木サンカラモソレト同一ノ質問ガ出マシタ、甚ダ失禮デアリマシタケレドモ、同一ダカラ速記録ニ依テト御答ヲシマシタガ、尙ホ甚ダ失禮デアリマスガ、速記録デドウカ……

○加藤委員長 第五類ニ付テ御質問ハアリマセヌカ(ナシ)ト呼フ者アリ)ソレデハ今保留サレタ項目ダケヲ殘シテ、第五類ハ終了シタモノト認メマス、第六類

○岩切委員 六類ハ總括シテ藥材、化學藥、非常ナ重要ナ國家ノ産業ダト考ヘマスガ、殊ニ此中デ木材乾餾事業、「コールタール」ノ事業、是ハ非常ナ化學工業ノ見地カラ重大ナ問題ト考ヘテ居リマス、木材乾餾事業ノ分類ハ大分類別サレテ居リマスガ、之ヲ總括シテ先ヅ御方針ヲ承ッテ見タイト考ヘマス、是ハ戰時ノ景氣ノ好イ時分ニハ内地ノ木材乾餾事業ト云フモノハ大分發達シテ利益モアッタ、併シ其後非常ニ各會社トモ苦境ニ立ッテ、相當保護シナケレバ今後十分發達ノ見込ノナイモノデハナ

イカト思フノデアリマス、尙ホ又我國ハ山林ノ國デアッテ、殊ニ雜木ガ多イ、此雜木ヲ乾餾事業ノ方ヘ使ッテ行クト云フコトハ、國內ノ産業ノ發展ノ上カラ云ッテモ非常ニ良イ事デアル、ノミナラズ又只今言フ化學工業ノ上カラ非常ニ重大ナ立場ニアルモノデアリマスガ、大體論トシテ先ヅ承リタイノハ此程度デ、只今ノ内地産業ト云フモノハ保護サレルヤ否ヤ、先ヅ此點ヲ總括致シテ御尋ヲ致シマス

○窪田農林技師 只今ノ御質問ノアリマシタ木材乾餾事業ニ付テ、此程度ノ關稅ノ賦課デ保護ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトノ御質問ノヤウデアリマスガ、一時好況時代ニ醋酸石灰ノ製造、即チ木材乾餾事業、其乾餾事業ガ盛ンニナリマシタケレドモ、戰爭ガ終ッテカラ甚ダ悲境ニ陥ッタ事ハ事實デアリマス、我國ノ木材乾餾事業ト云フモノハ、外國ノソレトハ甚ダ違ッテ居リマシテ、是ハ日本ニ於キマシテハ、木炭ヲ製造スル炭竈カラ排出スル所ノ煙カラ取ルノデアリマシテ、木炭製造業ノ副業ト云ウタヤウナ地位ヲ占メテ居リマス、ソレガ好況時代ニハ錯酸石灰ガ外國カラ來ナカッタ爲ニ好況ヲ呈シタノデアリマスガ、其後亞米利加ノ方ノ醋酸石灰ガ、非常ニ多量輸入サレルヤウニナリマシテ、之ガ爲ニ安クナリ、非常ニ打撃ヲ受ケタ、現在モ殆ど和歌山縣ノ一角ニ於テ生産セラレテ居ルノミデアッテ、

其他ノ府縣ニアッテハ殆ド其跡ヲ絶ッ
ト言ッテモ宜イ位ナ狀況ニナッテ、ソ
ナラバソレニ關稅等ヲ十分賦課シテ保
護シタラドウカト云フノデアリマス
レドモ、目下世界ノ醋酸石灰、ソレカ
ラ醋酸ノ保護ノ關係デ、亞米利加ニ於
ケル所ノ醋酸石灰事業モ、其根柢ガ現
ニ於テハ、確實ニ將來ドウナルカト云
フヤウナ事ガ分ラズニ、其日／＼デ需
要ニ任シテ拵ヘルト云フヤウナ狀態
アリマシテ、此醋酸石灰ノ事業ガ十分
醋酸石灰事業トシテ成立ツ時分ニハ、
其場合ニハ之ヲ保護シナケレバナラヌ
ガ、今ノ所デハ其先行ノ關係モ分ラヌ
ノデアリマスカラ、モウ少シ情勢ヲ見
テ、其時ノ研究ノ結果ニシタイ、先ヅ混
沌タル狀態ニ在ルト云フ意味ニ於テ、
當分據置イテ情勢ヲ觀望シヤウト云フ
ノデアリマス

○岩切委員 百九十六ノ「メチール」ガ
無稅ニナッテ居リマスガ、是ハドウ云フ
譯デスカ

○矢部政府委員 百九十六ノ木精ハ現
行法ニ於テ百斤五圓九十五錢ノ課稅ヲ
受ケテ居ルノデアリマス、改正案ニ於
テハ無稅ニ致サウト云フノデアリマ
ス、御承知ノ如ク此木精ハ「ホルマリ
ン」ノ原料ニナリ、一方此取レル有様ヲ
見マスト、木材乾留ノ一部分トシテ
出來ルモノデアアル、之ヲ保護シテ助長
セシムルカ、或ハ之ヲ使フ所ノ事業ニ
便宜ヲ與ヘルカト云フノガ問題デアリ

マス、一番手早く行クノガ、之ニ重稅ヲ
掛ケテ保護シ、之ノ製品タル「ホルマリ
ン」ニ更ニ稅金ヲ加ヘテ行クト云フ事
ニスレバ、均衡ハ取レヤウカト思ヒマ
ス、現在ノ狀況ハ内地デ出來ル木精ハ、
之ヲ以テ十分ナリトスル譯ニハ行カナ
イ、尙ホ又此製品ノ「ホルマリン」ニ稅
ヲ掛ケレバ非常ニ影響ガアルノデアリ
マス、此「ホルマリン」ノ用途ハ主ニ各
農村ニ於テ養蠶具ノ消毒ニ使ハレテ居
ルノガ多イ、諸工業上ニモ使ヒマスガ、
各農村ニ於テ養蠶具ニ使フノガ最も多
イノデ、之ガ値ガ上ルト云フコトヲ許
サレルナラバ、多少保護ハ出來ヤウト
思ヒマスケレドモ、之ニ影響ヲ及ボス
コトヲ避ケマシテ、「ホルマリン」ノ製
造ヲ保護シタイ、詰リ現在ノ有様カラ推
シテ參リマスレバ、外國カラ安イ所ノ
木精ヲ仰イデ、内地ニ於テ「ホルマリ
ン」ヲ使フ事業ヲ保護スルナラバ相當
ニ利益ガアラウ、之ガ捷徑デアルト考
ヘタノデアリマス

○岩切委員 此木精ト「ホルマリン」ノ
關係ヲ御説明ニナリマシタガ、ドウセ
私モ當業者デナイノデスケレドモ、是
ハ民間産業ノ爲ニ御立案ニナッテ居ル
ノデアアルカラ、當業者ノ意嚮ト云フモ
ノハ無視スルコトハ出來ナイと思フ、
當業者ノ言フ所ニ依ルト、木精ヲ無稅
ニシテ置イテ、ソレノミデハ尙ホ「ホル
マリン」ノ事業ト云フモノハ非常ニ經
營ガ困難ト斯ウ見ルノデアリマス、是

ハ先年來政府ニ於テ補助ヲシテヤッテ
來テ居ラレタ事業デアリマスガ、之ヲ
今日ヨリ補助ヲ打切ッテ、既ニ補助サレ
ナイコトニナッテ、然ラバドウシテモ關
稅ノ上ニ於テ保護サレルヨリ外ニ途ガ
ナイ、ト云フノガ當業者ノ意見ノヤウデ
アリマス、斯ウ云フ事業ハ極メテ僅カ
ナ事業デアッテ、唯一會社カ二會社ノ事
業デアリマスケレドモ、内地ノ染料デ
モ同ジ事デアリマスガ、一旦政府ガ命
令ヲ出シテ、補助ヲヤッテ居ッタ事業ガ
成立タナイト云フ事デアッテハ、蛇蜂取
ラズニナッテ、假ニ養蠶業ノ爲ニ幾ラカ
使フコトハ勿論デアリマスケレドモ、
折角ヤッテ來タ事業ガ、此際發達シナイ
ヤウニナッテハ、曩ニ支出サレタ數萬圓
ノ補助ガ無駄ニナルノデハナイカ、當
業者ハ之ヲ撤回シナケレバ事業ヲ解散
スルヨリ外ナイト云フコトヲ話シテ
居ル向キモアリマスカラ、今少シク保
護ヲ加ヘルト云フコトハ、政府トシテ
如何ナモノデアリマセウカ

○松尾内務技師 私カラ御答致シマス
ガ、實ハ從來東洋藥品株式會社ト申シ
マスル會社ニ、醫藥品製造獎勵保護ニ
依テ、保護ヲ與ヘテ居ッタノデアリマス
ガ、丁度十年程ノ經過ヲ見マスト、其
會社ノ生産額ガ漸ク内地ノ需要ノ二割
ヲ充タスニ過ギナカッタノデアリマス、
サウ致シマシテ、其出來マスル所ノ「ホ
ルマリン」ノ價格ハ、比較的高ク付キマ
シテ、殆ド數年來每期缺損ヲ致シテ居

タノデアリマス、從來ハ「メチール」木
精ノ關稅ガゴザイマシタノデ、其點ニ
於テモ餘程達ッテ居リマス、今度從來ノ
經驗ニ徴シマシテ、木精ヲ無稅ニ致シ
マスレバ、先ヅ私共ノ見ル所デハ大シ
テ儲カリモセズ、又損モシナイト云フ
位ノ程度ニ上ゲル積リデアリマス、當
業者ハ或ハ不況デ自分達ハ立行カヌト
云フコトヲ皆様ニ申上ゲルカモ知レマ
スケレド、實ハ私共カラ考ヘテ見マ
スルト、最近ニ保護ガ無クナリマスル
ト、一緒ニ日本醋酸株式會社ニ合併ヲ
致スコトニナッタノデアリマス、而カモ
ソレハ相當有利ノ條件デ合併スルト云
フ傾向ニナッテ居ルト云フ話モ聞イテ
居リマス、醋酸會社ノ言フ通り必シモ
損ノ行クモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○岩切委員 モウ一ツ、是モ大ナル問
題ト思ヒマスガ、曹達灰ノ問題デアリ
マス、政府ハ之ヲ保護スル積リデアリ
マスカ、安イ外國ノ原料ヲ輸入シテ、之
ニ依テ工業ヲ發達セシメルト云フ御方
針デアリマスガ、ドッヂデアリマスガ
○宮田工務局長 只今御尋ニ相成リマ
シタ曹達灰ノ問題ハ、極メテ重大ナル
問題ト考ヘルノデアリマス、曹達灰ハ
各方面ニ於キマシテ、工業ノ原料ト致
シマシテ、非常ニ重要ナモノデアアルコ
トハ申スマデモナイコトデアリマス、
併ナガラ我國ニ於キマシテハ原料品ノ
問題、及ビソレヲ製造スル等、各種ノ問
題ガアルノデアリマス、此點ニ付キマ

シテハ終始研究ヲ怠ラヌノデゴザイマスガ、相當ノ時期ニ於キマシテ適當ナ方策ヲ他ニ立テタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ今日ニ於キマシテハ、曹達灰ト致シマシテ、我國ニ於テ生産セラレルモノガ約一萬噸、外國ヨリ輸入セラレルモノガ約十萬噸位ノ見當ダト考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ狀態ニナツテ居リマシテ、而シテ一面ニ曹達灰ノ製造ニ付テハ採算上有利デアルト云フコトハ、マダ出來ナイノデゴザイマスガ、併ナガラ需要供給ノ關係ヲ顧ミテ見マシテ、九割モ外國ニ仰ガナケレバナラヌト云フヤウナ關係デゴザイマスルノデ、而シテ重要ナ工業ノ原料デゴザイマスノデ、而シテ一面ニ於キマシテ曹達灰ト云フモノガ、マダサウ澤山出來テ居ラヌト云フヤウナ事情ヲ考慮致シマシテ、只今三十五錢ヲ据置キマシテ、他ニ適當ノ方法ヲ考慮致シマシテ、相當ノ時期ニ其對策ヲ講ジタイト云フコトヲ着々研究中デアリマス、併ナガラ其方策等ニ付キマシテ、只今申上ゲル程度ニ達シテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

ドウデスカ、其御意見ハドウデスカ
○宮内政府委員 ソレガ只今申上ゲマシタ原料鹽獲得ノ問題デアリマス、獲得ト云フ言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、原料鹽ヲ供給スルノニ、容易ニ曹達灰ノ工業ガ、成立スルヤウナ工合ニ供給スルト云フ問題ハ、一ニ係ッテ其處ナノデアリマス、其點ニ付キマシテハ、考モゴザイマスルケレドモ、尙ホソレガ申上ゲル時機ニ達シテ居リマセヌコトヲ遺憾ト致シマス

○山内委員 私モ關聯シマシテ曹達灰ノコトニ付テ、少シク御尋致シタイト思ヒマス、今政府委員ノ御答ニ依リマスト、殆ド需要ノ一割、而シテ未ダ的確ナル内地生産ノ發達ハ見込ガ付イテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ御答ノヤウデゴザイマシタ、他ノ工業用原料ハ大抵無税ニナツテ居リマスルガ、此曹達灰ニ付キマシテハ、矢張以前ノ稅率ヲ當分ノ儘据置ク、斯ウ云フ御趣旨ノヤウデゴザイマスルガ、此事ニ付キマシテハ、最モ曹達灰ヲ使用シマス所ノ硝子製造業者ナドハ、是非之ヲ無税ニシテ貰ヒタイト云フコトヲ、詳細ナル理由ヲ附ケテ陳情致シテ來テ居ルノデゴザイマス、ソレデ内地生産ガ約一割、而モ其内地生産用ノ一割ノ原料スラモ外國カラ仰グ、斯ウ云フヤウナモノナラバ、寧ロ是ハ矢張生産原料トシテ、他ノ生産原料ト同一ニ無税スルト云フヤウナ方ガ、或ハ當ヲ得テ居ルカノヤウニ吾々

ハ考ヘルノデスカ、尙ホモウ少シ政府ノ御所見ノ確カナル所ヲ承リタイ
○宮内政府委員 只今山内君カラ致シマシテ、生産ガ内地ニ少イト云ウテ、輸入ノ方ガ多イカラ無税ニシタラドウカナリマセヌ、是ハ内地ニ於キマシテ一割ヲ供給致シテ居リマスノハ、旭硝子ノ牧山工場デアリマス、而シテ先程申上ゲマシタ非常ニ重要ナ工業デアリマスノデ、之ヲ成立スルト云フコトニ付キマシテハ、多大ノ犠牲ヲ拂ヒマシテ研究ノ結果、苦心慘澹經營ノ結果ト致シマシテ、今日漸ク引合フカ引合ハヌカ位ノ程度ノ曹達灰ノ製造法ナルモノガ、日本ニ於テ出來マシタノデアリマス、而シテ之ヲ若シ只今ノヤウナ御説デ、無税ニスルト云フコトニナリマスレバ、折角出來上リマシタ曹達灰製造ノ技術ハ消滅致スノデアリマス、斯様ナ政策ハ到底採ルコトガ出來マセヌ、原料鹽ノ問題ニ付テ私ハ悲觀シタ或ハサウ云フモノガ將來出來ナイ、曹達灰ノ製造ニ付テモ日本デ將來出來ナイト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマセヌ、各種ノ點ニ考慮ヲ致シマシテ、原料鹽ノ獲得ナリ、曹達灰ノ製造ナリニ付テ經濟上立行クコトガ出來マシヤウニ、曹達灰工業ノ確立ヲ期スルト云フコトニ付テ、全力ヲ舉ゲテ申上ゲテ居ルノデアリマス、之ヲ只今三十五錢ノモノヲ無税ニシテ行クコトニ付キマシ

テハ、日本ノ基礎工業タル曹達灰ノ製造ニ付テ、根柢ヲ覆ヘスコトニナリマス、硝子工業者ハ左様ナコトヲ申上ゲテ居ルカモ存ジマセヌケレドモ、併ナガラ曹達灰ノ重要ナ所以ニ鑑ミテ、國家トシテハ是非ガ確立ヲ期セナケレバナラヌノデゴザイマス

○奥村委員 只今山内委員カラ曹達灰ノコトニ付テ御尋デアリマシタガ、私モ一點御伺ヒ致シタイト思フノデス、曹達灰即チ之ニ依テ出來ル所ノ硝子ノ輸出ニ付キマシテ、是ハ戻稅ガアル管デアル、ソレハ設ケテアルサウデスガ、實際ハ當業者ノ信用ニモ依リマスノデスカラ、當局ニ於カセラレテハ、勿論正確ナ數ガアリマセウ、使用致シマシタ所ノ曹達灰ガ製品トナツテ、硝子ニ形ヲ變ヘテ出テ行クトキニハ、ソレハ硝子業者ガ計算ヲ致シマスルト、四十萬餘圓ノ戻稅ヲ受クルヤウニナル、然ルニ今受ケテ居ルモノハ、十三年度ニ於キマシテ五千七百九圓、十四年度ニ於キマシテ五千八百圓ホカ受ケテ居ナイ、是ハ其戻稅ヨリモ寧ロ荷造ヲ完全ニシナケレバナラヌノデアリマスカラ、其荷造ヲ解イテ一々檢査ヲシテ戴クト云フサヘガ、却テ戻稅ヲ受クルヨリモ、其手數料ノ方ガ多クナル、品ノ傷ミモ出來ル、他ノ品物ト異ッテ荷造ヲ直ニ其處デ元ノヤウニスルト云フコトハ、到底困難デアルカラ、故ニ斯ウヤツテ戻稅ト云フ既得權ガアルノニ拘ラズ

テハ、日本ノ基礎工業タル曹達灰ノ製造ニ付テ、根柢ヲ覆ヘスコトニナリマス、硝子工業者ハ左様ナコトヲ申上ゲテ居ルカモ存ジマセヌケレドモ、併ナガラ曹達灰ノ重要ナ所以ニ鑑ミテ、國家トシテハ是非ガ確立ヲ期セナケレバナラヌノデゴザイマス

テハ、日本ノ基礎工業タル曹達灰ノ製造ニ付テ、根柢ヲ覆ヘスコトニナリマス、硝子工業者ハ左様ナコトヲ申上ゲテ居ルカモ存ジマセヌケレドモ、併ナガラ曹達灰ノ重要ナ所以ニ鑑ミテ、國家トシテハ是非ガ確立ヲ期セナケレバナラヌノデゴザイマス

拋棄シテ居ル、斯ウ云フヤウナコトデアリマス、之ニ對シテ何か硝子業者ニ對シマシテ、硝子業者ガ言フガ如ク、五十萬圓近イ所ノ戻税額ガ果シテアルト云フナラバ、政府ハ之ニ對シテ何トカ御考ガアリサウナモノデゴザイマスガ、如何デセウカ

○矢部政府委員 只今御尋ニナツタ問題ハ、硝子器竝ニ硝子板等ヲ輸出スルニ當リマシテ、戻税ニ對スル検査ヲ簡便ニスル方法ハナイカト云フ御尋ノヤウニ承知致シマシタデスガ、之ニ付キマシテハ古クカラ問題ニナツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ攻究ヲ致シテ居リマスガ、中ニ簡便ナル方法ト云フモノガゴザイマセヌ、併ナラガ成ベク便利ニ致スト云フ方針カラ致シマシテ、油ノ如キ外國カラ種子ガ入リマスルト、稅務署デ以テ其種子ヲ検査ヲ致シマス、何萬斤ナラ何萬斤這入ル、ソレガ製品ニ變化シタ所ヲ見届ヲ付ケルノデアリマス、此硝子工業ニ至ッテハ、大概外國ノ曹達灰ガ使ハレルト云フ所デアルカラシテ、ソレカラ又分量モ認定ヲ致シマシテ、検査ヲ省略致シテ、稅務官吏ノ出張ヲ煩ハスト云フヤウナ手數ヲ省キマシテ、稅關カラ出マスルトキニ、其分量ヲ見テ検査ヲスルト云フコトニ致シテ居ル、是ハ製造業者ニ取リマシテハ非常ナ便利デアルト考ヘテ居リマスガ、是ガ荷造ヲ解カズニ見ルト云フ方法ハ、中ニ發見サレナイ、若シ之ヲ止

メルト云フコトニナレバ、曹達灰ヲ外國カラ工場ニ引取ッタ其時分ニ稅務官吏ノ出張ヲ乞ウテ、ソコデ分量ヲ決メテ、ソレカラ外國ニ出ル製品ガドノ位出タト云フ稅務官ノ調ヲ經テヤルナラバ、省略ガ出來マスカ知レマセヌガ、ソレ等ハ總テ既ニ省略ラシテ稅關ヲ出ルダケノ検査ニシテ居ルノデアリマス、併ナガラ其上ノ簡便ノ方法ト云フモノハ攻究ヲ怠ッテ居ル譯デヤナイ、常ニ硝子業者カラ懇ヘテ來ルノデ、大藏省ニ於テハ研究ヲシテ居リマスノデ此問題ハ硝子板バカリデハナク、珪瑯鐵器ナドニモ此問題ト同様ナ問題ガアリマス、一般ニ稅關ノ検査ヲ簡便ニシテ呉レト云フノデ、成ベク簡便ニ致スト云フコトハ方針ト致シテ居ルノデゴザイマスガ、全部省略スルト云フコトニナリマスト云フト、其所ニ又一ツノ弊害ガアリマスカラ、其半面ヲモ能ク見ナケレバナラヌコトニナツテ居リマス、尙ホ將來氣ヲ付ケルコトニハ致シマスガ、ドウモ良法ガナイモノト御考ヲ願ッテ置キタイ

○奥村委員 今ノ御説明ヲ聽キマシテ略諒致シマシタガ、當業者ノ陳述ニ依リマススト云フト、戸畑ニ工場ヲ持ッテ居リマス、旭硝子會社ハ、自己ニ七千噸程製造ラシテ、サウシテ自分ノ使用數量ニハ足ラナイノデアルガ、是ハ商略上デアルカ、幾分賣出シテ居リマスサウデアリマスガ、サウシマススト云フト、

此旭硝子ノヤウニ大量生産ラシテ居ルナイ會社ハ、只今ノヤウナ缺點ノ爲ニ戻税ニ與ラヌト云フ關係ニ陷ッテ居リマスノデ、其邊ハドウカ十分ニ御考慮ヲシテ戴キタイノデアリマス、其希望ヲ述ベテ私ハ止メテ置キマス

○加藤委員長 前ニ主稅局長ノ御出席ガナイ爲ニ質問ヲ保留サレタノハ誰方デシタカ、丁度オキデノ方ハドウゾ御發言ヲ願ヒマス

○長田委員 黑田政府委員ニ御同致シマス、黑田サンニ御尋ヲ申上ゲルコトハ、番號ノ第二十二ノ「コーンスタイチ」ノ問題デアリマス、一ツハ「タビオカ」「マニオカ」及「セーゴ」等デ約百八十萬圓バカリノ輸入稅額ノモノデアリマスガ、之ニ對シテ屢御伺ヲ致シテ、「コーンスタイチ」ノ一圓六十五錢ヲ四圓五十五錢ニ急激ニ關稅稅額ノ値上ラサレタト云フ理由トシテハ、黑田政府委員ハ奥村委員ノ質問ニ對シテ、明瞭ニ此「コーンスタイチ」ト云フモノノ大ナル部分ハ食用ニ供サレルモノデアアル、一部工業用ニ使用セラレルコトハ認メルガ其大部分ハ食用ニ供サレルモノデアアル、サウシテ食用ト申シテモ生活ノ必需品デナク、嗜好品ニ屬スルモノデアアルカラ、稍値上ラシテモ宜シカラウト云フノデ、斯ウ云フ値上ラシタト云フコトヲ、明確ニ御答ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ニ對シテハ、反對ニ其

用途ハ矢張工業用ノ糊トシテ用ヒラレルモノデアッテ、隨テ一割五分位ガ適當デアラウト云フノデ、一圓ニシタノデアリマス、其他ノモノハ是ハ食用トシテ用ヒルノデアリマスガ、多少嗜好品ニ屬スルモノト考ヘマシテ三割ト致シタノデアリマス、斯ウ御答ニナツテ居リマス、ソレニ付テ國民中此問題ニ熱誠ナル、一面「コーンスタイチ」ノ輸入業者ガ昨朝モ參リマシテ、詳シク「コーンスタイチ」ノ説明ヲシテ參リマシタ、又今朝ハ此日本ノ澱粉、即チ農家ノ副業トシテ居ル、日本ノ澱粉ヲ職業トシテ取扱ッテ居ル方面ノ者ガ數十名參リマシテ、晝ニ此委員ノ方ニ面會ラシテ、其陳情ヲシテ參ッタノデアリマス、其陳情シテ參ッタ兩者ノ説明ハ、輸入業者ト日本ノ澱粉製造業者デアアルカラ、其言フ所ガ矛盾衝突スベキモノデアアルニ拘ラズ、一致シテ居ルノデアリマス、其一致シテ居ル點ハ何カト云フト、此問題ハ用途ニ對シテ、所謂使途デス、如何ナル所ニ用ヒラレテ居ルカト云フ點ガ明確ニナレバ、此稅率ヲ上ゲラレタト云フコトガ、從ッテ判斷ガ出來ルノデアリマス、即チ工業用ニ使ハレルト云フコトデアリマスナラバ、其工業獎勵ノ爲ニモ稅額ハ据置、又ハ安キ關稅ノ率ニ置カルベキ性質ノモノデアアルシ、ソレカラ輸入ガ食用ニ供サレルト云フコトデアリマスレバ、黑田政府委員ノ御説明ノ通り嗜好品デアリマスカラ、是ハ

稅額ハ高クナッテ宜シイノデアリマス、是ハ皆今日陳情ニ參ッタ者ハ一致シタ言葉デアリマス、全ク黒田政府委員ト同一意見デアリマス、然ラバ使途ハ如何カト云フ問題ガ後ニ殘ッテ來ルノデアリマス、其問題ヲ調査致シテ見マス、輸入業者ノ申シテ居リマスノモ、「コーンスターチ」ト云フモノノ輸入ノ八割五分ハ、所謂織布用ノ糊ニ使ッテ居ルノデアリマス、先刻黒田政府委員ノオキデニナリマセヌ間ニ、「マンチエスタ」ノ織布雜誌カ何カノ、此「コーンスターチ」ニ對スル評論ヲ此所デ朗讀致シテ置キマシタノデアリマスガ、今日デハ織布ニ對シテノ糊附ケハ「コーンスターチ」ニ限ル、日本ノ今日マデノ織布ガ粗製濫造デアルト外國デ言ハレタノハ、此糊ト云フコトヲ閑却セラレテ居ッタ結果デアル、此「コーンスターチ」ノ糊ヲ使ッテカラハ、全然織布ノ信用ガ高マッテ參ッテ、今日デハ其非難ハナイ、鐘紡ヲ初メトシテ富士瓦斯、其他織布ヲ使ッテ居ル所ノ者ハ、今日此「コーンスターチ」ヲ使ハナイ者ハナイノデアリマス、小サナ織布工場ニ至ルマデ、皆大工場ニ倣ッテ居ルト云フ狀態デアル、斯様ニ申シテ居リマス、サウシテ黒田政府委員ノ、日本内地デ出來テ居ル所ノ「コーンスターチ」ノ會社等モ、之ヲ保護スル必要ガアルト云フコトヲ言ッテ居ラレマスガ、私ノ方ニ參リマシタ陳情者ノ説明ヲ聽キマス、芳賀「コ

ンスターチ」製造ト、神戸「コーンスターチ」製造所ト、此二ツガ稍見ルベキモノデアルケレドモ、年産額ハ五千梱シカ造ラナイ、サウシテ此二會社ノ造ッテ居ル所ノモノモ、逆モ舶來ノ「コーンスターチ」ニ及ビマセヌノデ、所謂菓子用、或ハ「アイス、クリーム」用、蒲鉾ト云フヤウナモノニ使用スルノヲ、専門ニ内地デハ造ッテ居ルノデアリマス、斯様ニ申シテ居リマシテ、他ノ方面ヲ調べマシテモ、ソレガ事實デアリマス、ソレカラ尙ホ此「コーンスターチ」ノ方デ、食用ニ使フ部分ト、工業用ニ使フ部分ハ、輸入ノ狀態ガ全然違フ、即チ食用ニ使フ方ハ一封入デ四十箱、ソレヲ木箱ニ入レテ輸入サレテ居ル、是ハモウ初カラ食用トシテ參ルモノデアリマシ、工業用ノ方ハ麻袋ニ入ッテ來ルノデアリマス、此方ハ工業用ガ主ナルモノデアアルガ、一部分乾菓子、蒲鉾或ハ「アイスクリーム」等ニ使ッテ居リマスガ、ソレハ極ク少數デアリマス、斯様ニ初カラ輸入ノ形ガ違ッテ居ル、其麻袋ノ方トソレカラ木箱ニ入ッテ來ル方トノ其關係ハ、木箱ノ方ガ食用ト云フコトニナリ、片方ハ工業用トナル、ソレカラ農產物關係デ參リマシタ者ノ要求ヲ聞キマス、其稅明ノ中ニ此「ボテトースター」デ、第二十二ノ六ノ「其ノ他」ノ部分ニ入ッテ居リマス、是ハ蘭領ノ「スター」デアリマシテ、北海道ノ馬鈴薯澱粉ト同一ノ物デアアルサウデアリマス、ソレ等ハ

其用途ガ食料原料 菓子、餅蒲材料ガ八割デアルニ拘ラズ、是ガ二圓ノ税金ニ止マッテ居ル、ソレカラ「コンスターチ」ノ方ハ、一分ガ製菓用原料デ、九分ガ工業用ニ使ハレルト云フノデ、所謂輸入業者ノ申シテ居ルノト、全然同ジ事ヲ申シテ居リマス、ソレカラシテ「セーゴ」ト「タビオカ」ハ「マニオカ」此内譯ハ、六千五百英噸ガ食料原料デ、千五百英噸ガ工業用原料ニナッテ居リマス、隨テ主ナル部分ハ「セーゴ」「タビオカ」「マニオカ」ハ食料ノ方ニ使ッテ居リマス、其食料ニ使ッテ居ル「セーゴ」「タビオカ」「マニオカ」ト云フモノガ、丁度日本内地デ出來ル所ノ甘藷澱粉ト同ジ用途デアル、斯ウ云フノデアリマス、故ニ若シ日本ノ食料品、即チ嗜好品ト御説明ニナッタ所ノ食料品ノ方ヲ、關稅ヲ多少高率ニ上ゲルト云フ御考デアリマサルナラバ、當業者ガ申ス所ノ「セーゴ」「タビオカ」「マニオカ」、即チ二十二ノ第四ノ所謂二圓ヲ一圓ニ下ゲラレマシタ部分ノ方ハ、却テ「コーンスターチ」ノ四圓五十五錢ト入レ替ルベキ性質ノモノデアアル、サウシテ「コーンスターチ」ノ方ハ、却テ九割マデ工業用ニ使ハレルトデアリマス、是ガ寧ロ一圓ニナルノデアッテ、是ハ關稅調查會ニ於テ御調査ノ際ニ、數字ガ誤ッタモノカ、名目ヲ誤ッタモノデナイカト云フヤウナ疑惑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此點ニ對シテ、去ル二月十二日ニ奧村委員ノ質

問ニ對シテ黒田サンノ御説明ガ、如何ニ當業者ノ頭ヲ刺戟致シタカト云フコトヲ御了解下サッテ、非常ナ狼狽ヲ以テ輸入業者モ、日本ノ澱粉業者モ、委員ニ面會ヲ求メテ參ッタノデアリマス、特ニ附加ヘテ申シマスガ、千葉縣、廣島縣、長崎縣、特ニ千葉縣ガ多クアリマスガ、海岸ノ砂地デアルトカ、或ハ海拔三千尺以上ノ、玉蜀黍デモ作ッタラト思フ所デモ、ソナ風デイケマセヌカラ、皆甘藷ヲ作ッテ居リマス、若シ千葉縣ノ濱地トカ、或ハ山ノ上ノ高イ所ニ作ッテ居ル所ノ甘藷、澱粉ガ保護サレヌト云フコトデアアルナラバ、殆ド此附近ノ農家ト云フモノハ、モウ絶望スル外ハナイ、斯様ニ訴ヘテ居ルノデアリマス、此甘藷、澱粉ヲ何故斯ナニ壓迫サレルノカ、實ニ不滿ニ堪ヘナイト云フコトヲ申シテ居リマスガ、特ニ此點ニ對シテ食料ノ嗜好品トシテ、關稅率ヲ高クシテモ宜イト云フ黒田政府委員ノ御説明ニ吾等敬意ヲ表スル、唯「コンスターチ」ト「セーゴ」「マニオカ」「タビオカ」ニ、何カ間違ガアルノデナカラウカト私ハ思フノデアリマスガ、此點ニ對シテ當業者ノ満足スルヤウナ御説明ヲ承リタイノデアリマス

○黒田政府委員 「コンスターチ」ニ付キマシテ先般御説明申上ゲマシタノハ、大體只今御述ニナリマシタヤウナコトデアリマスガ、其中ニ食料等ニモ用ヒラレルノデアアルカト云フコトヲ

申シマシタガ、又稅率ヲ引上ゲタ理由ハ、其製造ガ内地ニ於テ出來得ルヤウニナツテ參ッテ居ルト云フコトニ付テ、特ニ申上ゲタノデアリマス、繰返シテ申上ゲマスルマデモナク、一時ハ隨分出來テ居ッタノデアリマシテ、大正九年頃ニ於キマシテハ、五萬「ピクル」以上出來テ居リマス、其後ニ於テハ五萬乃至四萬「ピクル」年々出來テ居ッタノデアリマス、然ニ外國品ノ壓迫ヲ被リマシテ、現在ニ於テハ、先程御述ベニナリマスヤウニ五千「ピクル」位ト云フ狀況ニナツテ居ラウト思ヒマス、併ナガラ折角斯ウ云フ風ニ出來テ居ルノデアリマスカラ、多少之ヲ保護スルコトハ必要デハナカラウカト云フ考カラ、稅率ヲ盛ッタノデアリマス、而シテ其用途カラ申シマスルト云フト、食用ニ供セラルモノガ相當多イノデアリマス、工業用ニ供セラルモノ、即チ織布ノ糊トカ、或ハ西洋洗濯、是ハ工業用デアリマスカドウカ、是ハ別ト致シマシテモ、兎ニ角サウ云フモノニ使ハレマスルモノハ、勿論アルノデアリマスルガ、是等ハ生産品ニ影響致スノハ、最モ多ク見マシテモ、萬分ノ二三ト云フ位ノモノデアリマシテ、其爲ニ工業用カラ見マシテ、只今御述ベニナリマシタヤウニ必要ナモノデアアルナラバ、内地デ折角出來ルノデアリマスカラ、多少保護シテ生産ヲ多クスル、生産ヲ多クスレバ、自然是等ノ供給モ宜クナリ、品質モ益改

良サレ、而シテ價格モ亦安クナツテ來ルデアラウ、サウ云フ趣旨カラ、多少是ハ保護スルコトガ適當デアルト云フコトヲ認メタノデアリマス、此用途ニ付キマシテハ、當時ドレダケガ食用ニ使ハレテ居ルカ、何割ガ工業用カト云フコトヲ的確ニ申上ゲラレナカッタノデアリマシテ、其點ハ調査シテ見タラドカト云フ御話モアリマシタガ、是ハ當時主務局ノ方ニ於テ調べタノヲ見マスルト、色々アリマスカウデ、食用ト菓子用トヲ一緒ニ合セマスルト五割、アトガ五割ト云フ風ナ調モアリマスルシ、或ハ食用ハ八割デ工業用ハ二割ト云フ風ナ材料ノ出テ居ル所モアルノデアリマス、併シ是ハ各ノ立場デ以テ、必シモ其通りデアアルカドウカト云フコトハ、多少疑問モアリマシタガ、併シ大體ニ於キマシテ、其半ハ工業ニ使ハレルダラウト云フコトハ、想像ニ困難デナイヤウニ考ヘマス、工業用ニ使ハレテ居ルモノニ付キマシテモ、前申シマス通り影響ハ極メテ小デアアル、而モソレ等ノ或ル種ノ織物ニ付テハ、是ハ必要デアルト云フコトハ私モ聞イテ居ルノデアリマスガ、ソレガ内地デ以テ優ニ出來ルト云フコトニナレバ、是ハ宜シイノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘマシタ結果、調査委員會ニ於テハ此稅率ガ適當デアラウト云フコトニ相成ッタ次第デアリマス、其事ヲ實ハ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ「タビオカ」「マニオ

カ」「セーゴ」ニ付キマシテハ、是モ前申シマシタ通り、粉狀ノモノニ付テハ、大體工業用ニ使ハレルト云フ其點ヲ見マシテ、成ベク是ハ現行ト大シテ違ハナイ程度、現行ハ一圓五錢、ソレヲ一圓ト云フ程度デアリマスカラ、是ガ適當デアラウ、「コーンスターチ」ノ方ニ付テハ、前申シマシタ内地ノ生産ノ狀況ヲ特ニ考慮致シテ稅率ヲ盛ッタ次第デアリマス、前申上ゲマシタコトヲ繰返シタヤウデアリマスルガ、補足シテ御説明ヲシテ置キマス

○長田委員 甚ダ諄イヤウデアリマスケレドモ、極ク簡單ニ疑點ヲ質シテ置キマスガ、此「コーンスターチ」ニ對スル黒田政府委員ノ二月十二日ノ御答辯ハ、「コーンスターチ」ノ用途ハ勿論工業用ニモ用ヒマスルガ、食用ニ用ユルノガ多イノデアリマス、ソレ故ニ此點カラ申シテ、食用ト申シテモ生活ノ必需品デナク、嗜好品ニ屬スルモノデアラカラ、上ゲテモ宜カラウ云々トナツテ居リマス、サウシテ一圓六十五錢ヨリ四圓五十五錢ニ上ツテ居ル、此一圓六十錢ヨリ四圓五十五錢ニ上ツタト云フコトガ事實デアアルナラバ、實際「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」、此方ガ最モ多ク食用ニ使ハルノデ、七割以上ヲ占メテ居ルノデアリマスガ、此方ニ向ッテハ二圓ヲ一圓ニ下ゲル、是モ反對ノ値下デナクテ値上デナケレバナラスト思ハレル、只今ノ御答辯デハ、或ハ半々ト云フモノモアリマスシ、却テ反對ニ八二ト云フモノモアルト、此「コーンスターチ」ノコトヲ仰セラレマスルガ、當業者ノ申シマスルモノト、一致シテ居ル點カラ見テモ、私ハ大藏省ノ方ノ此五五ト云フ、若クハ八二ト云フ割合ノ御調査ニ疑念ヲ抱イテ居ル者デアリマス、若シ此使途ニ對シテ此稅ノ盛方ガ正シイカ否カ、或ハ反對デアアルカドウカト云フコトガ岐レルノデアアルナラバ、此使途ノ調査ハ綿密デナケレバナラスト思フ、サウシテ更ニ食用ノ方面カラ見テ「二二」ノ第六其ノ他「ノ中ニハ」ボテトースターチ」ト申シマス北海道ノ馬鈴薯澱粉ト云フモノガ這入ッテ居ッテ、ソレガ一圓六十五錢ヨリ二圓ニナツテ、北海道ノ澱粉ハ保護サレテ居ル、ソレ等ノ内地ノ澱粉ノ所謂葛ニスル甘薯ノ澱粉ト性質ヲ同ジクスル「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ト云フモノニ對シテハ、二圓ヲ一圓ニ下ゲテ、サウシテ輸入ヲ増大シテ、内地ノ生産者ヲ迫害スルト云フコトガ、實ニ遺憾ニ堪ヘヌコトト思フノデアリマシテ、此點ニ對シテモウ一段明確ナル——簡單デ宜シウゴザイマスガ、御説明ヲ伺ッテ置クト、國民ハ満足スルダラウト思フ

○黒田政府委員 明確ニ申上ゲテ居ル積リデアリマスルガ、尙ホ一應申上ゲマス、此「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ニ付キマシテハ、二圓ヲ一圓ニシタ

ト仰シヤイマスガ、二圓ヲ一圓ニシタ
ノハ、唯「セーゴ」ダケノ分デアリマシ
テ「セーゴ」ダケニ付キマシテハ、是ハ
「タビオカ」「マニオカ」ト殆ド區別スル
コトガ、取扱上ニ於テ不便デアリマス、
ソレデ「タビオカ」「マニオカ」ト一緒ニ
シタノデアリマス、「タビオカ」「マニオ
カ」ハ、御承知ノ通り、今日一圓五錢デ
アリマス、ソレト同一ニ取扱フ結果、
「セーゴ」ダケガ一圓ニナツテ居ルノデ
アリマス、馬鈴薯澱粉、甘薯澱粉等ノ御
話デアリマスルガ、是ハ第六ノ其ノ他
ノ中ニ這入ルノデアリマス、左様ナ次
第デアリマスカラ、特ニ甘薯澱粉ニ對
シマシテ不利益ナ取扱ヲシヤウト云フ
ヤウナ趣旨カラ、是ガ出來タモノデハ
ナイノデアリマス、此「タビオカ」「マニ
オカ」等モ矢張一方ニハ工業ニモ使ハレ
マスルガ、又是モ他ノ用途ガアルノデ
アリマス、併シ大體先程申シマシタコ
トヲ繰返シテ申シマス、主ニ工業ニ
用ヒラレルノデアリマスカラ、ソレニ
使ハレルモノガ多イト考ヘテ、前ノ稅
率ニシテ置イタノデアリマス、「コーン
スターチ」ニ付キマシテハ、正確ナ用途
ヲ何故調査シナカッタカト云フコトデ
アルガ、大體ヲ調べマス以上、何割ガド
レニ使ハレルカト云フコトヲ調べマス
コトモ困難デアラウト思ヒマスカラ、
只今ハ工業用ト申シマシタガ、——大
體五割ガ食用、其他五割ガ工業用ト
申シマシタガ、其五割ノ中ニモ化粧品

用ニモ使ハレマスルシ、或ハ寫眞等ニ
モ使ハレルモノモアリマス、又正確ナ
意味ニ於テハ、西洋洗濯モアリマスカ
ラ、工業用ニバカリデモナイト思ヒマ
ス、或ル方面ニ於テ調査シタ所デハ、寧
ロ食用ノ方ガ八割ト云フ風ナ調査モ得
テ居ルノデアリマスカラ、大體食用ニ
——少ク見テモ半バ位ハ食用ニ使ハレ
テ居ルモノデアルト云フ見當ヲ附ケテ
居ッタノデアリマス、繰返シテ申上ゲル
ヤウデアリマスルガ、工業用ニ使ハレ
ル其數量モ極ク微々タルモノデアリマ
シテ、内地ノ産業ガ外國品ニ壓迫サレ
テ居リマス、此内地ノ産業ガ保護サレ
ルト云フ點カラ見マシテ、斯ウ云フ稅
率ニ相成ツテ居ル次第デアリマス

○長田委員 モウ一點——私ノ質問ガ
間違ッテ居リマシタカモ知レマセヌカ
ラ確メテ置キマヌルガ、當業者ハ此「セ
ーゴ」トカ「タビオカ」「マニオカ」トカ
云フモノハ、内地ノ甘薯澱粉ト其用途
ヲ同ジクスル、ソレカラシテ第二ニ
六ニアル所ノ「其ノ他」、私ハ「其ノ他」
ノ説明書ヲ戴キマセヌカラ分リマセヌ
ガ「其ノ他」ノ中ニ「ハポテト」スター
チ「ガ這入ッテ居ルダラウト思フ、其ノ
他」ニ「ハポテト」スターチ「ガ這入ッテ居
ルナラバ、北海道ノ馬鈴薯澱粉ト同ジ
用途ニナルモノダト申シテ居リマス、
故ニ馬鈴薯澱粉ノ方ノ、所謂其他ノ部
類ニ屬スルモノガ、一圓六十五錢ヨリ
二圓ニ今度關稅ガ引上ゲラレルト云フ

コトニ對シテハ満足シテ居ルケレド
モ、内地ノ澱粉業者ハ「タビオカ」「マニ
オカ」「セーゴ」ト年中競争シテ居ルカ
ラ、ドウモソレノ關稅ヲ値下スルコト
ハ、内地ノ澱粉業者ハ壓迫サレルト、斯
ウ云フノデアリマス、御説明ニ依ルト、
「タビオカ」「マニオカ」ハ、一圓五錢ノ
モノガ一圓ニナツタダケデアツテ、極ク
僅カ「セーゴ」ダケガ下ッタト仰シヤル
ガ、ソレガ「セーゴ」ハ六十六萬七千四
百三十四圓ノ輸入デアツテ、「タビオカ」
「マニオカ」ハ二十九萬三千六百五十九
圓デアアル、殆ド半額シカナイ、主ナル分
ハ「セーゴ」ト言ツテ宜シイ、其「セーゴ」
ガ關稅ヲ値下サレルト云フコトニナレ
バ、内地ノ甘薯澱粉業者ガ壓迫サレル
ト云フコトハ當然ノ歸結デアアル、此點
ニ對シテ御説明ガアレバ伺ツテモ宜シ
イ、御説明ガナケレバ此儘デモ已ムヲ
得マセヌ

○加藤委員長 此際ニ私ハ一言致シタ
イト思フノデスガ、是ハ御承知ノ通り
ニ類別モ多シ、項目モ多イノデ、成ベク
急速ニ進行致シタイ希望ヲ持ツテ、今日
迄ヤツテ參リマシタガ、現在ノ狀況ヲ見
マスルト云フト、進行ガ餘程滯滯スル
ヤウニ見エマス、ソレハ何故デアアルカ
ト言ヘバ、既ニ濟ンダ項目ニ對シテ、後
ニ返ツテ質問ガ屢繰返サレルト云フヤ
ウナコトモアリマス、是等ハ若シ申合
ガ付ケバ、質問殘リノ分ハ質問ヲ終了
シテ、最後ノ場合ニ御問ヒ下サルト云

フコトニナツタナラバ、複雑ヲ生ジナク
テ大變宜カラウトモ思ヒマス、旁々議
事ノ進行上ニ付テ、理事諸君ガ今日此
會ノ終ッタ後ニ篤ト御相談下サイマシ
テ、各派了解ノ上成ベク記事ヲ進行致
シタイト斯ウ思ヒマス、ソレデ今日ハ
定メノ三時三十分限リデ休會致シマ
ス、ドウゾ理事諸君ハ御集リノ上、十分
ニ責任ノアル御協議ヲ願ツテ、明日カラ
審議ヲ致シタイト思ヒマス、ソレデハ
今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前
十時カラ開會致シマス

午後三時三十一分散會

大正十五年二月十五日印刷
大正十五年二月十六日發行
衆議院事務局
印刷者 民友社